



Until we are all equal

2024年  
ガールズ・リーダーシップ・

インデックスレポート

声・選択・力

表紙: © Plan International

お問い合わせ先:

**Plan International Asia Pacific Hub**

12th Floor, 253 Asoke Building  
Sukhumvit 21, Klongtoey Nua,  
Wattana, Bangkok 10110, Thailand

Tel: +66 2 259 8284-7

Fax: +66 2 204 2629

プラン・インターナショナルにより2024年初版発行  
文章・イラスト・デザイン © Plan International 2024

2024年

ガールズ・リーダーシップ・  
インデックスレポート

声・選択・力



Until we are all equal

# 目次

まえがき .....	1
謝辞 .....	3
要約 .....	4
背景 .....	8
GLIの目的 .....	9
対象地域と対象国 .....	9
GLIの開発 .....	10
指数を読む際の主な留意点 .....	10
領域 .....	11
<b>2024年GLI .....</b>	<b>13</b>
<b>領域別GLI .....</b>	<b>16</b>
教育 .....	17
経済的機会 .....	20
保護 .....	23
健康 .....	26
政治的発言力と代表性 .....	28
法律と政策 .....	30
気候変動対策 .....	33
<b>提言: 2024年GLIに基づく .....</b>	<b>36</b>
<b>横断的課題: 重点的行動実施のための優先事項 .....</b>	<b>43</b>
児童婚 .....	43
ジェンダー不平等 .....	43
SRHRの享受の阻害 .....	44
<b>変革の促進: 女の子に明るい未来を .....</b>	<b>45</b>
<b>査読 .....</b>	<b>46</b>

# まえがき



先日、プラン・インターナショナルが活動するコミュニティを訪問したときに、私が出会ったSaimaという女の子は、コミュニティのリーダーになりたいと語りました。彼女に、女の子をリーダーとして育成するために何が必要か尋ねたところ、彼女の答えは明確で力強いものでした。「私たち女の子がリーダーになりたいという夢を持つためには、愛・配慮・支援が必要です。私たちを束縛する迷信を打破し、女の子はリーダーや変革者になれないという考えに挑戦しなければいけません。また、私たちが平等な力・自由・発言力を獲得するためには、もっと多くの機関や支援者が必要です」。

Saimaは、世界中の女の子が活躍するために本当に必要なものを把握していました。女の子は既に、家庭やコミュニティで組織し、主導し、変化をもたらしています。しかし、ジェンダーステレオタイプや機会の不平等、暴力等の構造的な障壁により、彼女たちは潜在能力を最大限に発揮することを妨げられているのです。こうした障壁は、社会・政治・経済制度に深く根づいており、彼女たちの機会を制限し、リーダーとして能力を発揮することを妨げています。

2024年ガールズ・リーダーシップ指数(GLI)は、アジア太平洋地域の女の子とユース女性が経験する進展と課題について、重要な検証を提案します。この報告書を通じ、教育・健康・経済的機会・暴力からの保護・気候変動・政治参加・法的・政策的枠組み等、女の子の生活に影響を与え、彼女たちの成長を支援したり、制限したりする、複雑で、交差することも多い問題について、一層深く理解できます。

同地域が、社会経済的不平等・気候変動・市民スペースの縮小・地政学的な緊張等、一段と不安定化するなかで、女の子が直面する特有の複合的な課題を認識することが不可欠です。本年の報告書では、データに基づくこれらの課題の概要を説明するだけでなく、政策立案者、市民社会組織(CSO)、政府、民間部門に向けた具体的かつ実現可能性の高い提言も提示しています。これらの洞察は、女の子とユース女性をエンパワーメントし、未来のリーダーとなるための意思決定と投資の形成に役立つでしょう。

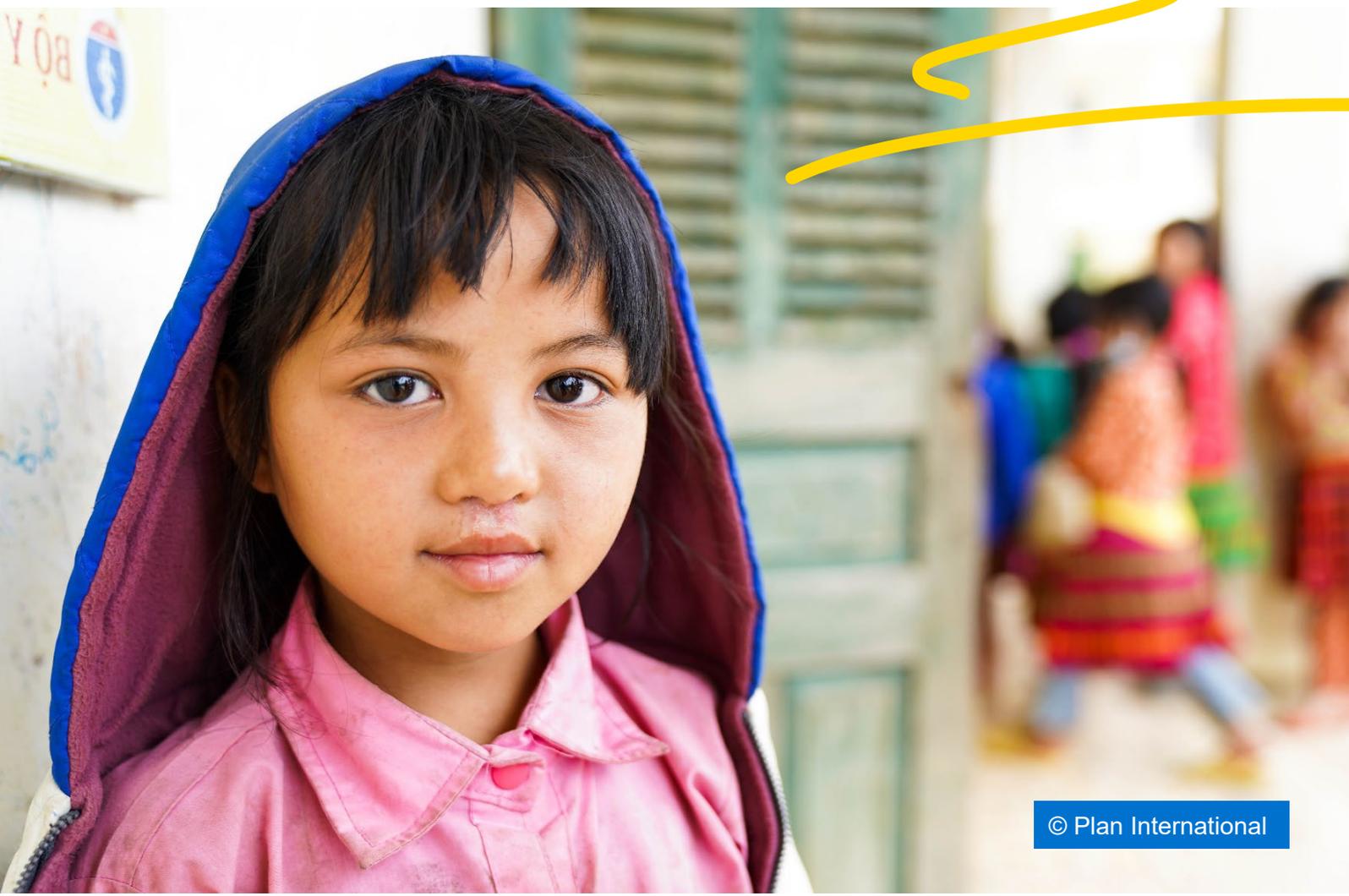
プラン・インターナショナルでは、エビデンスに基づく調査を用いて、プログラムや提言活動を進めています。GLIは、同地域全体で女の子のリーダーシップとジェンダー平等を提唱する私たちの活動の基盤となっており、今日、女の子のリーダーシップに投資することは、すべての人びとにとって一層公正で公平な、持続可能な未来への投資でもあります。

女の子のエンパワーメントは、彼女たちの生活改善にとどまらず、最終的にはコミュニティや国全体に対し、より良い未来を保証することにつながります。2024年GLI報告書は、女の子が対象のプログラムに関する重要な意思決定や投資を行うにあたり、政策立案者・活動家・NGO・政府にとって極めて有用なリソースとなります。私たちが協力すれば、女の子が真に自由にリーダーとして活躍し、成長し、持続的な変化を生み出す世界を創り出すことが出来るでしょう。



**Bhagyashri Dengle**

プラン・インターナショナル・アジア太平洋 (APAC) 地域統括事務所長



# 謝辞

2024年GLIの成功は、多くの個人や組織の努力の賜物である。この重要な調査に貢献したすべての方に心より感謝の意を表したい。

Kusalin Wongnamkob(地域ジェンダー・包摂担当顧問)、Hongxia Zhang(地域監督・評価専門家)、Alexandra Pura(地域ジェンダー・トランスフォーマティブ・政策担当)で、本調査の中心グループが構成された。

このプロセス全体を通じて指針を示していただいた運営グループのメンバーに感謝する。Julie Gurung(PQIディレクター、プラン・インターナショナル・ネパール)、Nazla Mariza(影響力ディレクター、プラン・インターナショナル・インドネシア)、Ronald Rofiandri(政策/提唱活動・顧問、プラン・インターナショナル・インドネシア)、Megawati Megawati(政策/提唱活動・専門家、プラン・インターナショナル・インドネシア)。彼らの洞察力に富んだ助言と支援は、本報告書の策定において、特に、GLI報告書を国レベルの提唱活動において、どう入手が容易で効果的なものができるかといった、重要事項の決定を助けた。

特に、Miller Jones ConsultingのJennifer Miller、Alex Riba、Erica Stilloには、調査への多大な貢献と、調査方法やデータ収集に関する専門知識の惜しみない提供に感謝する。Hongxia Zhangは、調査方法・データ収集・分析において卓越したリーダーシップを発揮した。地域教育顧問のRuxana Hossain Parvinは、データ検証において極めて貴重な支援を提供した。

コミュニケーションチーム、特にTrần Thu Quỳnh、Cao Trần Quế Chi、Văn Trọng Hiếuの支援に感謝する。

また、APACハブの運営チーム、特に地域ディレクターのBhagyashri Dengleと副地域ディレクターのSharon Kaneから多大な助言と支援をいただき、心より感謝する。

そして、データ分析と2024年GLIの開発への献身と専門性の発揮をしてくださった顧問チームのBoonthida Parnui、John Luke Chua、Kwankamol Pruraparkの3人に、心からの感謝を表明する。

# 要約

2020年3月、プラン・インターナショナル・APAC地域統括事務所は、APAC地域の女の子のリーダーシップに投資し、アジアGLIを紹介する初の「アジア・ガールズ・レポート」を公開した。その後、2021年と2022年には太平洋地域GLI報告書が公開された。世界的に認められたデータベースからデータを手入れし、GLIは国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)の加盟国および地域である南・東南アジア19カ国と太平洋諸島14カ国で思春期の女の子とユース女性の機会を測定し、リーダーシップ能力の開発と発揮を促している。

GLIの目的において、女の子のリーダーシップは「女の子とユース女性が、自身の生活のさまざまなレベルや局面で、自ら意思決定を行い、自身の権利を行使する能力、および自身の権利の行使力に影響する事柄について、個人または集団として意思決定や意思決定者に影響を与える能力」と定義されている。

## なぜGLIが必要なのか

アジア太平洋地域全体で、女の子のリーダーシップは依然、厚い障壁に直面している。それら障壁には、質の高い教育へのアクセスの制限、経済的機会の不足、意思決定プロセスへの参加の制限等が含まれる。文化規範、ジェンダーに基づく暴力(GBV)、早すぎる結婚(児童婚)は、特に得点が低い国々において、依然として制度的な問題であり、主要領域における女の子のリーダーシップに関する詳細なデータの欠如は、効果的な政策立案やプログラム開発を阻害している。特に思春期の健康や経済的参加の領域に関して、部門横断的なジェンダーおよび年齢別データの欠如は、包括的かつ継続的なデータ収集プロセスの必要性を明確に示している。

GLIは、アジア太平洋地域での女の子のリーダーシップの進展と課題に関する重要な洞察を提供する。また、政府・開発機関・民間部門のステークホルダーが、女の子とユース女性をエンパワーメントし、彼女たちの完全な社会参加とリーダーシップを保証するために、重点的に介入すべき分野を特定する具体的な枠組みも提示する。

## 2024年GLI報告書

GLIは、**教育・経済的機会・保護・健康・政治的発言力と代表性・国内の法律と政策・気候変動対策**の7つの主要領域で構成されている。各領域は、オンラインで入手可能な国際的に認められたデータベースから抽出された3~6の指標を集計したものである。各領域の指標を統合する前に、異なる測定単位を持つ指標を調整するための標準化プロセスが必要となる。領域別指数は、その領域内の標準化された正の指標を平均化することによって算出され、その結果得られる指数は0と1の範囲に収まる。

得点が高いほど、その国は女の子のリーダーシップという点でその領域において先進的であることを意味する。そして、GLIIは、7つの領域指数を平均して算出される。

本報告書では、新たに入手できたアジア太平洋地域の2024年GLI主要7領域のデータを提示する。本報告書の構成は以下の通りである。

- セクション1: GLIの概要
- セクション2: GLIの対象範囲と指数の開発方法
- セクション3: 最新版の2024年GLI  
傾向分析と2022年の指数との比較を含む、開発ニーズを示す重大な変化の強調
- セクション4: 2024年GLIに基づく提言  
介入の重点分野の特定と、実践者や政策立案者が実行すべき点の提示

## 地域別ランキングの概要

アジアにおける指数の高さで上位3位を占めたのは、シンガポール・タイ・フィリピンである。これらの国々は、主要領域全体で高い得点を示しており、特に教育・保護・法律と政策の領域で高い得点を獲得している。一方、指数が下位3カ国は、アフガニスタン・パキスタン・ブルネイであった。教育・経済的機会・保護・気候変動対策の領域では依然、深刻な格差が存在し、女の子のリーダーシップの可能性を大きく制限している。





© Plan International

太平洋地域で2024年GLIの上位3位に入ったのは、オーストラリア・ニュージーランド・フィジーで、教育・経済的機会・政治的発言力と代表性・法律と政策の領域で優れた結果を示した。一方、下位3カ国は、パプアニューギニア・ナウル・ソロモン諸島で、教育・健康・政治的発言力と代表性・ジェンダー平等に関し、未だに問題が残り、女の子とユース女性のリーダーシップの可能性を制限している。

全体として、アジア太平洋地域の2024年GLIは、同地域における女の子がリーダーシップを発揮する機会に大きな格差があることを明らかにした。シンガポール・オーストラリア・ニュージーランドといった上位国は、教育・経済的機会・保護等の領域では優れているとはいえ、気候変動対策等の領域では依然、課題を抱えている。

反対に、アフガニスタン・パキスタン・パプアニューギニアといった下位国は、大部分の領域で課題を抱えているが、特定の領域で強みを示している。例えば、ブータンは総合順位が低いが、気候変動対策では高得点を得ている。つまり、上位国にもまだ改善すべき点がある一方、下位国にも活用可能な貴重な資産があることを示している。

総合的に考察し、同地域では、特に**GBV・法的枠組みの強化・女の子とユース女性の政治・経済参加の強化**という事項における、深刻な格差の解消に向けた集中的な取り組みが必要である。

## 重点的行動への提言

プラン・インターナショナルの2024年GLI報告書は、特にアフガニスタンやバングラデシュ等の指数が下位半分のアジア太平洋諸国において、女の子のリーダーシップへの投資を優先するための道筋を示している。2024年GLIの分析により、女の子のリーダーシップの発揮を阻む重大な横断的問題が判明した。それは、社会経済的障壁・文化規範・デジタルへのアクセス制限・ジェンダー平等に対する法的保護の脆弱性である。これらの要因に包括的に取り組むことが、全領域における前進に不可欠である。

GLIは、持続可能な変化の実現のために、成果を既に挙げているモデルを活用した集中的な介入を推奨する。これには、**コミュニティ主導の教育活動**(例: インドのEducate Girlsプログラム)、**金融リテラシーや起業家精神の育成研修**(例: ベトナムのSheMeansBusiness)、暴力や児童婚を撲滅するための**保護活動**等が含まれる。経済的機会の不足、医療へのアクセスの乏しさや、児童婚からの保護等の根本的な問題に優先的に取り組み、女の子がリーダーとしての可能性を開花できるようしなければならない。プラン・インターナショナルの、ユースの雇用と起業のためのスキルと機会(SOYEE)のような好事例は、応用可能なモデルを提示している。市民社会・民間部門・政策立案者間の協調的な取り組みは、支援的な環境を創出するために必須である。持続的な影響を保証するため、本報告書は各国政府に対して、ジェンダー・クォータ制の採用・法的枠組みの強化を求めている。また同時に、各国政府が民間部門に関与し、デジタル包摂・ジェンダー多様性のあるリーダーシップ・持続可能な取り組みを推進していくよう求めている。これらの行動は、アジア太平洋地域で、女の子がリーダーとして力強く活躍できる環境を全体的に整えるだろう。

## 変革の促進: 女の子に明るい未来を

女の子のリーダーシップを強化するために、ステークホルダーは、*Champions of Change*や*Safer Cities*等のユース中心のモデルを活用し、積極的な変革の担い手としてユース女性の関与を促し、焦点を絞った資金援助を通じて女の子の組織を支援すべきである。支援を促進する環境の形成は不可欠であり、これには、包摂的な政策の策定・安全な主張の場の確保・気候変動や市民スペースの縮小等の地域の問題への対応が含まれる。今後の調査では、教育や経済的機会に対する気候変動の影響や、市民スペースの制限による支障等、女の子のリーダーシップに影響を与える新たな問題を調査することになるだろう。

# 背景

アジア太平洋地域には、世界のユース人口の60%にあたる約7億5,000万人（15～24歳）のユースがいる。だが、この地域の大部分では、女の子とユース女性は過小評価され、軽視されている。彼女たちは、可能性を最大限に発揮することを妨げるジェンダーに起因する障壁や不平等に苦しんでいる。差別的な態度や慣行が、彼女たちがリーダーシップを発揮し、目標設定を行い、それに基づいて行動する力を制限している。

世界的に、思春期の女の子とユース女性に関するデータの収集・入手・細分化・報告には常に不整合が存在する。このデータの整合性の欠如により、彼女たちのリーダーシップ能力を支援または阻害する要因を深く洞察するのに支障が生じている。その一方で、政府や支援者は、以前にも増して、資金確保の必要性や政策や戦略的対話に情報を供するための根拠やデータを求めるようになっている。

このギャップに対処するために、プラン・インターナショナルAPACハブは、同地域の思春期の女の子とユース女性に特化した初めての取り組みとして、GLIを開発した。



GLIは、女の子のリーダーシップの支援または制限を考慮する上で不可欠な7つの主要領域を評価する。これは、**教育・経済的機会・保護・健康・政治的発言力**と**代表性・法律と政策・気候変動対策**である。これら进行评估することで、GLIは、女の子とユース女性が、家庭・職場・広範なコミュニティにおいて、自身の権利を十分に行使しながらリーダーシップを発揮できる方法を明らかにしようとしている。

## GLIの目的

- アジア太平洋地域の女の子とユース女性の状況を正確かつ深く理解する。
- 有意義でわかりやすい形で関連データを提示する。
- 思春期の女の子とユース女性のリーダーシップ開発に投資するよう、政策立案者・ドナー・一般市民に周知し、影響を与える。
- 文脈的に関連する戦略的な政策・プログラム・サービスを周知する。

## 対象地域と対象国

GLIは、思春期の女の子とユース女性のリーダーシップ能力開発・発揮のために、世界的に認知されたデータベースを活用し、ESCAPの南・東南アジア19カ国および太平洋諸島14カ国の加盟国・地域における彼女たちの機会を測定する指標である。

### アジアの対象国

- 
- アフガニスタン
  - バングラデシュ
  - ブータン
  - ブルネイ
  - カンボジア
  - インド
  - インドネシア
  - ラオス
  - マレーシア
  - モルディブ
  - ミャンマー
  - ネパール
  - パキスタン
  - フィリピン
  - シンガポール
  - スリランカ
  - タイ
  - 東ティモール
  - ベトナム

### 太平洋の対象国

- 
- オーストラリア
  - フィジー
  - キリバス
  - マーシャル諸島
  - ミクロネシア
  - ナウル
  - ニュージーランド
  - パラオ
  - パプアニューギニア
  - サモア
  - ソロモン諸島
  - トンガ
  - ツバル
  - パヌアツ

## GLIの開発



- 1) **指標の選択とデータマイニング:** 指標の選択は、領域と潜在的な指標を概説した、私たちの Girls' Leadership Research Frameworkに基づき行った。この枠組みは、提示された各指標に対する完全なデータセットを収集するために、世界中のデータベースを調査する際の指針となった。指標は、オンライン上で国際的に認知されたデータベースから抽出した。
- 2) **標準化:** 異なる測定単位を持つ指標を処理するために標準化プロセスを実施した。このプロセスにより、0から1の間の値を持つ単位のない指標が得られた。次に、2回目のプロセスでは、すべての指標を「正」の値に変換した。
- 3) **7つの領域指標の計算:** 各領域の標準化された正の指標を平均し、領域指標を算出した。各領域内の各指標に対し、等しい比重を割り当てた。
- 4) **領域指標の集約による総合指標の算出:** 総合指標は、7つの各領域指標の平均値として算出した。
- 5) **データソース:** GLIの得点は、世界銀行、ユネスコ統計研究所、国際電気通信連合、人間開発指数、国際労働機関等、世界的に信頼性が高い情報源が一般に公開しているデータから算出されている。これらの情報源は、GLIが、正確で有意義な洞察を導くために、信頼性が高く国際的に認知されたデータに基づいたものであることを保証している。

## 指数を読む際の主な留意点

- アジアと太平洋の指数は、それぞれ異なる指標を使用しているため、相対比較はできない。
- データセットに基づき、前年にデータが更新される場合があるため、指数は以前の報告書（2019年、2021年）と比較できない。
- 2022年にアジアGLIに気候変動対策が導入され、これに伴い、過去数年の指数の数値も含めて指数の再計算が必要となった。傾向は今年の報告書で示されている。
- 2024年GLIの結果は、棒グラフと対応する正負の矢印で示している。矢印は、国別順位や指標ではなく、変化のあった領域全体の指数の標準化値を指している。

## 領域

### アジアの国々



教育

中等教育修了率、女性(%)  
高等教育への総就学率、女性(%)  
インターネット利用率、女性(%)  
平均就学年数、女性(年)



経済的機会

非就業・非教育・非訓練のユース(NeET)の割合(ユースNeET率)、女性(%)  
ユースの労働参加率、女性(%)  
金融機関または携帯電話サービス提供会社における口座保有率、女性(%)  
管理職に占める女性の割合(%)



保護

児童労働に従事する5~17歳の女の子の割合  
18歳未満で結婚した20~24歳の女性の割合  
身体的/性暴力を親密なパートナーから受けた経験のある15歳以上の女性の割合



健康

思春期の出産率(15~19歳の女性1,000人当たりの出産数)  
現代的な方法で家族計画のニーズが満たされている15~19歳の女性の割合  
発育不良・低身長発生率、女性(5歳未満児の割合)  
自殺死亡率(15~19歳)、女性(女性10万人当たり)



政治的発言力と  
代表性

国会における女性議員の割合  
女性の証言が法廷で男性の証言と同じ証拠能力を持つ  
行政当局に出生登録されている5歳未満の女の子の割合



法律と政策

父母から財産相続する権利に関し、息子と娘に平等な権利が保証される  
同一価値労働同一賃金  
雇用におけるセクシャル・ハラスメントに関する法律  
児童婚を禁止または無効化する法律  
家庭内暴力に特化した法律



気候変動対策

災害による死者および行方不明者数(人口10万人当たり)  
災害による直接的被災者数(人口10万人当たり)  
気候変動に関するパリ協定に基づく、国が決定する貢献(NDC)の提出国(2021年更新)  
クリーン燃料・技術を主に利用している人口の割合(%)  
陸域および海域の保護地域(総領土面積に占める割合)  
二酸化炭素排出量、一人当たりの生産排出量(トン)



# 太平洋の国々



教育

初等教育への総就学率、女性(%)  
中等教育への総就学率、女性(%)  
高等教育就学年齢のユースの不就学率、女性(%)  
就学見込み年数、女性



経済的機会

ユース(15~24歳)のNEET率、女性(%)  
ユース女性(15~24歳)の失業率  
上級・中級管理職における女性の雇用率(%)  
同一価値労働同一賃金を法律が義務付けている



保護

身体的/性暴力を親密なパートナーから受けた経験のある15歳以上の女性の割合  
親密なパートナーではない者から性暴力を受けた経験のある15歳以上の女性の割合  
18歳未満で結婚/婚姻関係にあった、20~24歳の女性の割合



健康

思春期の出産率(15~19歳の女性1,000人当たりの出産数)  
自殺率(15~19歳)、女性(女性10万人当たり)  
妊産婦死亡率(正常分娩10万例当たり)  
現代的な避妊法普及率(15~19歳)



政治的発言力と  
代表性

国会における女性議員の割合  
女性も男性同様にパスポートを申請できる  
行政当局に出生登録されている5歳未満の女の子の割合



法律と政策

父母から財産相続する権利に関し、息子と娘に平等な権利が保証される  
家庭内暴力に特化した法律  
雇用におけるセクシャル・ハラスメントに関する法律  
児童婚を禁止または無効化する法律  
ジェンダーに基づく融資利用に対する差別を禁止する法律



気候変動対策

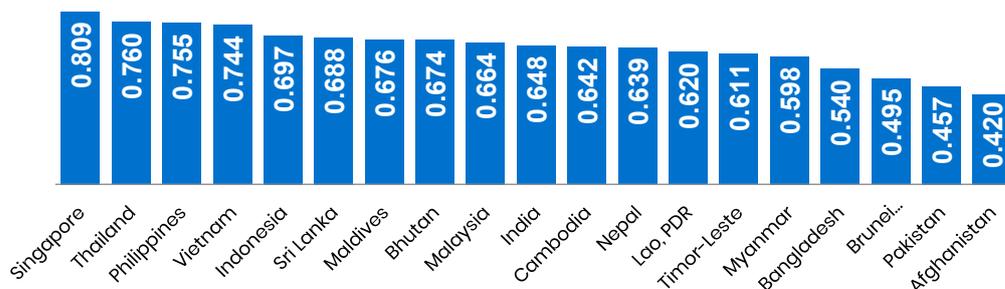
災害による死者および行方不明者数(人口10万人当たり)  
災害による直接的被災者数(人口10万人当たり)  
クリーン燃料・技術を主に利用している人口の割合(%)  
陸域および海域の保護地域(総領土面積に占める割合)  
二酸化炭素排出量、一人当たりの生産排出量(トン)



# 2024年GLI

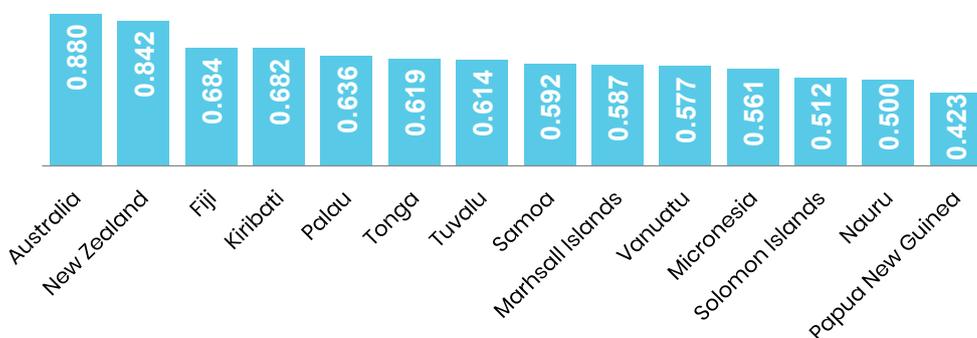
## アジア GLI

全般的に、2024年GLIでは、アジアの多くの国が順位を維持しているのに対し、太平洋の国々は多くの順位変動を経験した。



アジアでは、2024年GLIで上位3カ国は2022年と変わらず、シンガポール(0.80891)、タイ(0.75953)、フィリピン(0.75486)であった。一方、下位3カ国はブルネイ(0.49451)、パキスタン(0.45735)、アフガニスタン(0.42044)だった。特筆すべきは、同地域でインドネシアが顕著な改善を示したのに対し、ブルネイはGLIの得点が大幅に低下したことである。これらは、アジア諸国における進歩と課題のレベルがさまざまであることを物語っている。

## 太平洋GLI



全般的に、2024年GLIでは、アジアの多くの国が順位を維持しているのに対し、太平洋の国々は多くの順位変動を経験した。太平洋地域では、2024年GLIにおいて、9カ国が2022年以降の改善を示した。だが、ミクロネシア、ニュージーランド、パラオ、パプアニューギニアのGLI得点はわずかに下がり、ナウルは最も深刻な低下を経験した。2024年太平洋GLIの上位3カ国は、オーストラリア(0.87977)、ニュージーランド(0.8417)、フィジー(0.68424)である。

一方、ソロモン諸島(0.51196)、ナウル(0.49989)、パプアニューギニア(0.4229)が、今回の太平洋GLIに関し、下位3カ国となった。この結果は、太平洋地域全体のジェンダー平等促進と、女の子とユース女性のエンパワーメントに関するさまざまな前進と未だ残る課題を反映している。

## アジアGLI領域別評価

	教育	経済的機会	保護	健康	政治的発言力と代表性	法律と政策	気候変動対策
Afghanistan	19	19	17	19	17	5	14
Bangladesh	11	17	16	10	16	4	16
Bhutan	15	14	10	8	5	2	1
Brunei Darussalar	3	10		1	18	6	19
Cambodia	17	5	9	9	10	3	5
India	12	13	12	15	11	2	7
Indonesia	8	9	5	7	8	3	4
Lao, PDR	16	11	15	11	14	2	18
Malaysia	2	3		4	7	4	9
Maldives	6	4	2	12	13	4	2
Myanmar	10	7	7	6	15	5	12
Nepal	14	16	14	16	6	1	10
Pakistan	18	18	11	17		4	11
Philippines	5	8	3	13	3	1	13
Singapore	1	1	1	2	1	3	8
Sri Lanka	9	6	4	5	12	3	15
Thailand	4	2	8	3	4	2	6
Timor-Leste	13	15	13	18	9	2	17
Vietnam	7	12	6	14	2	1	3

各領域は、国際的に認知されている国連と世界銀行のオンラインデータベースから抽出された3~6の指標の集約である。一部の領域(例: 保護、政治的発言力)に関して、データが入手できなかった国もある。それらの国は、データが入手できなかった領域での評価は行われていない。

アジアでは、シンガポールが2024年の4つの主要領域(教育・経済的機会・保護・政治的発言力と代表性)で1位となった。ブルネイは健康領域で1位となり、ネパールとフィリピンは法律と政策で1位となった。気候変動対策ではブータンが1位であった。反対に、法律と政策・気候変動対策の2つの領域でブルネイは最下位となった。政治的発言力と代表性ではパキスタンが最下位となり、教育・経済的機会・保護・健康の4つの領域においてはアフガニスタンが最下位となった。これらの結果は、さまざまな部門において女の子のリーダーシップを押し進める上で、各国の多様な強みと課題を明らかにしている。

## 太平洋GLI領域別評価

	教育	経済的機会	保護	健康	政治的発言力と代表性	法律と政策	気候変動対策
Australia	1	2	1	1	2	1	3
Fiji	8	8	10	4	5	2	5
Kiribati	6	5	12	7	4	2	8
Marhsall Islands	7	4	2	12	6	4	14
Micronesia	11	14	8	5	7	4	12
Nauru	13	3	14	13	13		6
New Zealand	2	1	7	2	1	1	4
Palau	4	7	6	3	8	5	1
Papua New Guinea	14	13	13	14	14	4	9
Samoa	5	10	5	6	12	3	7
Solomon Islands	12	11	9	11	11	4	11
Tonga	3	8	4	8	3	5	2
Tuvalu	9	6	3	10	10		13
Vanuatu	10	12	11	9	9	3	10

各領域は、国際的に認知されているオンラインデータベースから抽出された3~6の指標の集約である。一部の領域(例:法律)に関して、データが入手できなかった国もある。それらの国は、データが入手できなかった領域での評価は行われていない。

太平洋地域では、オーストラリアが2024年の4つの主要領域(教育・保護・健康・法律と政策)で1位となった。ニュージーランドは、経済的機会・政治的発言力と代表性・法律と政策(オーストラリアと同率)の3領域で1位であった。気候変動対策ではパラオが1位となった。他方、教育・健康・政治的発言力と代表性の3領域ではパプアニューギニアが最下位となった。経済的機会ではミクロネシアが、気候変動対策と保護ではマーシャル諸島とナウルがそれぞれ最下位となった。全体として、同地域には深刻な格差を是正するための集中的な取り組みが必要である。

# 領域別GLI

本セクションでは、2024年アジア太平洋GLIの7つの主要領域を紹介する。この7つの領域は、教育・経済的機会・保護・健康・政治的発言力と代表性・法律と政策・気候変動対策である。

各領域に対し、アジア太平洋諸国の指数結果と、主な指摘事項および得点の解釈を記してある。前回(2022年)のGLI結果と比較して著しい変化は強調し、経年での傾向を明らかにした。特定の国の成果に影響を与えた要因や背景を分析することで、重点的な開発介入が必要な分野の特定を目指している。

この分析は、アジア太平洋地域の女の子のリーダーシップ開発を推進するすべての関係者の間の意見交換と行動を促すことを意図している。



© Plan International



## 教育

### 補助指数

#### アジア

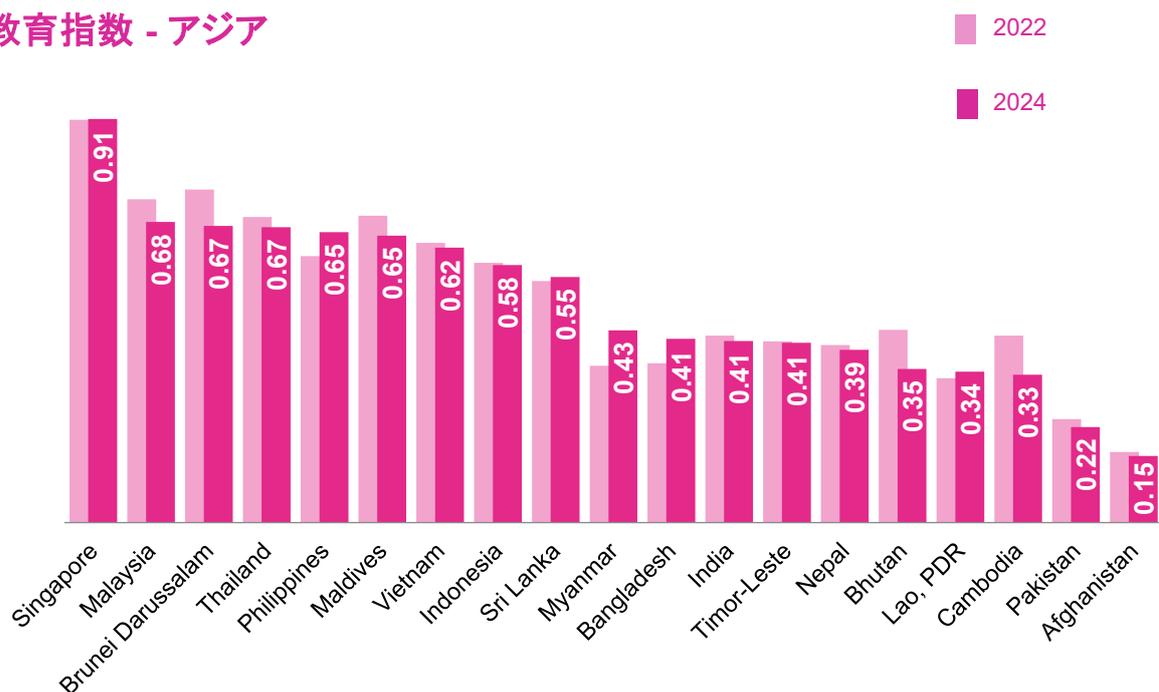
- 中等教育修了率、女性(%)
- 高等教育への総就学率、女性(%)
- インターネット利用率、女性(%)
- 平均就学年数、女性(年)

#### 太平洋

- 初等教育への総就学率、女性(%)
- 中等教育への総就学率、女性(%)
- 高等教育就学年齢のユースの不就学率、女性(%)
- 就学見込み年数、女性

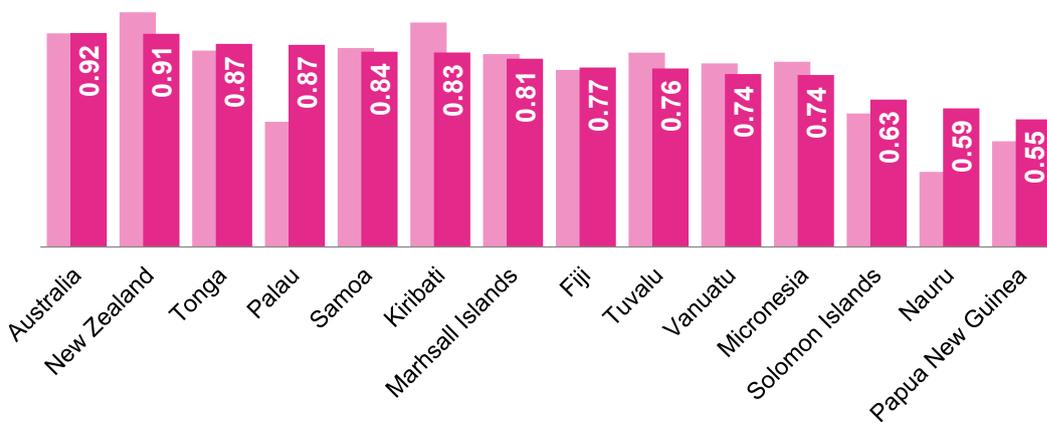
教育は、女の子のリーダーシップを培うための基盤となり、主導力や情報に基づく意思決定を行うために必要な知識・スキル・自信を女の子に与える。アジア太平洋地域では、女の子の教育達成度に大きな差がある。例えば、タイの**女性の中等教育修了率**は130%\*を超えているが、これは入学年齢を過ぎている、あるいは満たしていない生徒がいるためである。一方、ラオスの修了率は60%未満である。この差は、女の子がリーダーシップ能力を育む機会を平等に与えられていないことを浮き彫りにしている。**高等教育の機会**にも差があり、ユース女性の**総就学率**は国ごとに大きく異なる。さらに、教育とエンパワーメントに必須なリソースである**インターネットの利用**が多くの女の子には制限されており、デジタル学習プラットフォームの利用に支障をきたしている。**女性の平均就学年数**はこうした不平等を反映しており、指導的役割を担う可能性に影響を及ぼしている。したがって、教育機会とその質を高めることは、女の子がエンパワーメントされたリーダーとして活躍できる環境を育むために極めて重要である。

### 教育指数 - アジア



2024年アジア教育指数では、**シンガポール**が微増で引き続き首位を維持する一方、**マレーシア**と**ブルネイ**は依然として上位国に含まれているものの、2022年比で顕著な低下が認められた。**フィリピン**は**中等教育修了率**と**インターネット利用率**の向上により得点を大幅に伸ばし、最も躍進した国として突出した。一方、**ブータン**と**カンボジア**は大きく得点を落とし、持続的な進歩の難しさを示した。**ミャンマー**と**バングラデシュ**は基礎教育における顕著な改善が評価され、前向きな動きがみられた。だが、**アフガニスタン**と**パキスタン**は依然、底辺に位置し、得点もさらに低下しており、女の子の教育機会に対する障壁が厚いことを示している。

## 教育指数 - 太平洋



2024年太平洋地域教育指数では、**パラオ**をはじめとする国々で就学率の著しい改善が認められ、同国は、2022年の**0.53570**から2024年には**0.86500**へと大幅に上昇した。**オーストラリア**が微増で首位を維持する一方、**トンガ**も着実な進歩を見せた。対照的に、**ニュージーランド**は**1.00450**から**0.91200**へと最大の低下をみたものの、依然として上位国であり続けている。**ナウル**や**パプアニューギニア**等の下位国では、不就学率の改善に向けた取り組みが反映され、顕著な改善が見られた。しかし、**キリバス**等の国々では後退が見られ、教育の継続的な進歩の難しさを示している。

\*タイの130%という修了率は、中等教育を通常対象年齢を超える、または対象年齢未満の生徒が含まれていることを反映している。つまり一般的な年齢層以外の生徒が入学しているということである。これは、入学時期の遅れや留年によるものである可能性があり、女の子の教育の継続性に影響し得る、教育制度内の幅広い機会と課題の双方を示唆している。

GLIの教育領域では、東南アジア諸国連合(ASEAN)諸国は概して南アジア地域協力連合(SAARC)諸国よりも高得点を獲得している。例えば、シンガポール・マレーシア・ブルネイは2024年教育指数が0.65を超えている一方、大多数のSAARC諸国は0.55を下回っており、例外はモルディブの0.6460である。これはASEAN諸国の女の子が教育機会に恵まれ、SAARC諸国の同世代と比較してリーダーシップの潜在能力を大幅に高める傾向にあることを示している。

## 2024年教育指数 - アジア太平洋地域



## GLI の背景

パラオは教育制度の近年の改善により、2022～2024年の教育指数得点が大幅に向上した。この急上昇は、戦略的な教育改革によるもので、それには以下が含まれる。

- **太平洋地域教育枠組みとの統合:** パラオは教育の質を高め、地域目標に準拠した。
- **Western Interstate Commission for Higher Educationとの提携:** これにより、地域間協力とリソース共有を通じた、高等教育への進学機会の拡大が実現した。
- **新規の教育施策:** 教育省は新しい通年学年暦を導入し、初の幼稚園プログラムを開始し、全公立学校の学習環境を改善した。
- **国連国別実施計画(CIP):** 2023年、パラオと国連はCIPに署名した。この計画は、教育・健康・食料安全保障を含む国家開発の優先事項に国連の取り組みを整合させるものである。



## 経済的機会

## 補助指数

### アジア

- ユースNEET率
- ユースの労働参加率、女性(%)
- 金融機関または携帯電話サービス提供会社における口座保有率、女性(%)
- 管理職に占める女性の割合(%)

### 太平洋

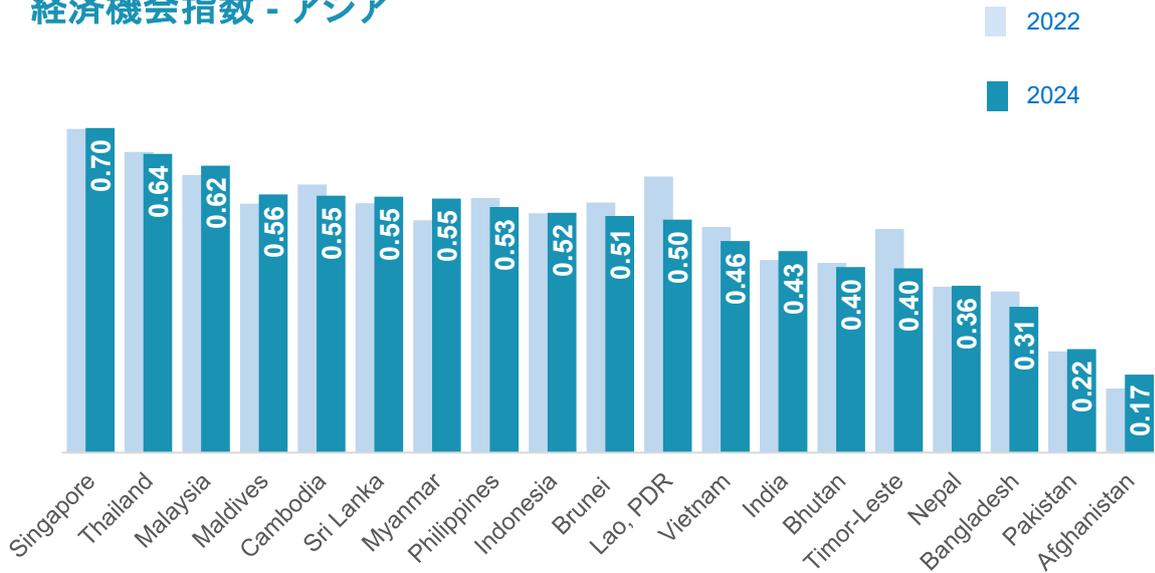
- ユース(15~24歳)のNEET率、女性(%)
- 上級・中級管理職における女性の雇用率(%)
- 同一価値労働同一賃金を法律が義務付けている
- ユース女性(15~24歳)の失業率

経済的な機会は、女の子とユース女性をエンパワーメントする上で基礎となり、彼女たちの個人的な発達とリーダーシップの可能性の土台となる。アジア太平洋地域では、依然、このエンパワーメントを妨げる大きな格差が存在する。2022年には、バングラデシュで前年からの大幅な後退がみられ、ユース女性の61.71%が**雇用・教育・訓練のいずれにも属していない**という衝撃的な結果が出た。同時に、ニュージーランドは**女性の労働力参加率**が約80%と最も高く、経済活動への参加がリーダーシップの機会をいかに生むかを示した。アフガニスタンはその対極に位置し、労働力参加率は約5%である。

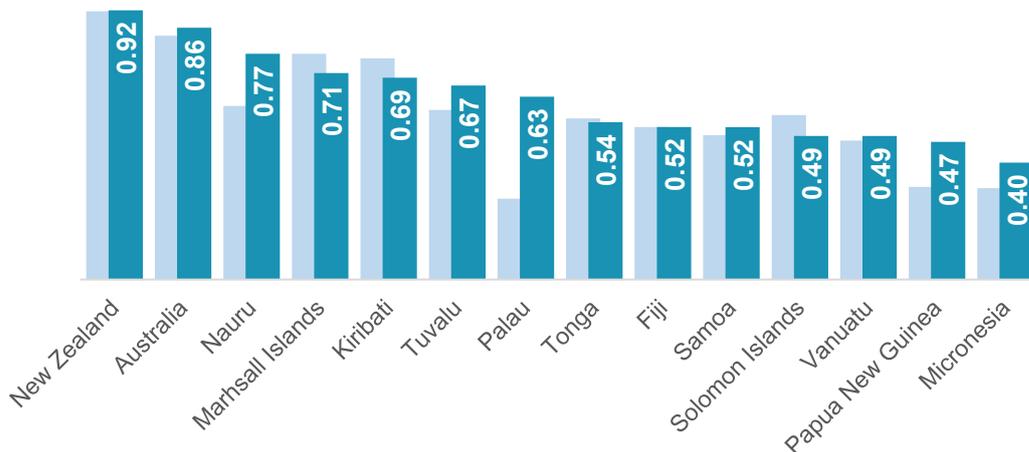
**金融サービスの利用**もまた重要な要素である。東アジアと太平洋地域の**口座保有におけるジェンダー格差**は世界最低の3%だが、特にデジタル包摂においては依然、格差が存在する。バングラデシュ等の国々では、特にCOVID-19パンデミックの最中、デジタルバンキングにより女性の金融包摂を促進した。しかし、同地域における**管理職に占める女性の割合**は平均30%程度で、2024年に65%近くの企業で女性上級管理職がいるタイのような国々は顕著な例外である。

同一価値労働**同一賃金を義務付ける法的枠組み**は多くの国で存在するが、その施行は不十分であり、賃金格差が依然として存在する。同地域の女の子とユース女性のリーダーシップの可能性を最大限に発揮させるためには、これらの格差の解消が必須である。

## 経済機会指数 - アジア



## 経済機会指数 - 太平洋



2024年アジア経済指数では、**シンガポール**が微増で首位を維持し、**マレーシア**と**モルディブ**は、金融包摂とユースの労働参加の改善により、小規模の改善をみせた。**ミャンマー**が大幅な進歩を遂げ、順位を上げた一方で、**フィリピン**は若干後退した。**バングラデシュ**、**ラオス**、**東ティモール**では著しい後退が認められ、これは女性の労働市場への参加と金融包摂における課題を反映している。また、**パキスタン**と**アフガニスタン**は若干の改善を示したが、依然、得点が最も低く、同地域全体で、女性の経済的エンパワーメントに対する厚い障壁を露呈している。ここから、同地域では進歩の度合いに差があり、女性の管理職への登用と労働参加には明白な格差が存在することがうかがえる。

2024年太平洋経済指数では、**ニュージーランド**と**オーストラリア**が、ユース女性の失業率と**一貫金法**で好実績を収めて、若干の改善を示しながら上位を維持していることが確認された。

ナウルとパラオは最も顕著な改善をみせ、特にパラオでは女性管理職の増加とユースNEET率の低下が大幅な躍進を支えた。反対に、マーシャル諸島とキリバスは、ユースの失業と女性管理職の割合の課題に苦しみ、大幅な後退をみせた。パプアニューギニアは緩やかな進歩をみせ、フィジーやサモア等の国々は状態を安定して維持しており、これは地域全体で女性の経済参加が進むものの、その速度が遅いことを表している。

## GLI の背景

2024年指数で最大の後退をみせた2カ国、東ティモールとラオスの女の子の経済機会の後退の主な要因を考察してみる。

### 東ティモール: 限られた雇用機会と教育・訓練の機会

- 15～24歳のユースのNEET率(20.3%)の高さが慢性的な問題と化している。
- 特に人口の70%が暮らす地方での雇用機会の不足が、女の子の経済的機会の後退に拍車をかけている。
- 良質の教育や職業訓練の機会の不足は、ユース、特に女の子にとって、雇用への重大な障壁と認識されている。

### ラオス: ジェンダー不平等と人的資本への支援投資の欠如

- 2021年のジェンダー不平等指数で、ラオスは170カ国中120位に位置し、社会規範により根深く残っている、医療・教育・労働市場におけるジェンダー格差が明らかにされた。
- 女性の労働力としての参加率は、男性の53%と比較して42%と限定的である。女性は非正規で無給の家事労働に従事する傾向が強い。
- COVID-19パンデミックは、中・高等学校への女性の総入学率の低下等、女の子の社会指標を悪化させた。
- 15～19歳の女の子の23.5%が既婚という児童婚と思春期の妊娠の割合の高さは、女の子の教育や経済的な機会の享受を制限する。



## 保護

### 補助指数

#### アジア

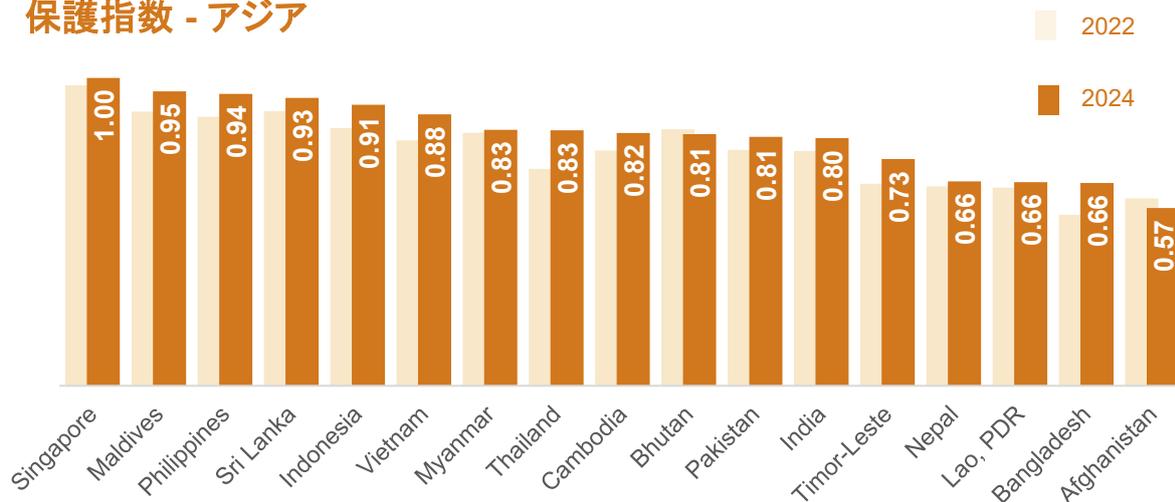
- 児童労働に従事する5～17歳の女の子の割合
- 18歳未満で結婚した20～24歳の女性の割合
- 身体的/性暴力を親密なパートナーから受けた経験のある15歳以上の女性の割合

#### 太平洋

- 身体的/性暴力を親密なパートナーから受けた経験のある15歳以上の女性の割合
- 親密なパートナーではない者から性暴力を受けた経験のある15歳以上の女性の割合
- 18歳未満で結婚/婚姻関係にあった、20～24歳の女性の割合

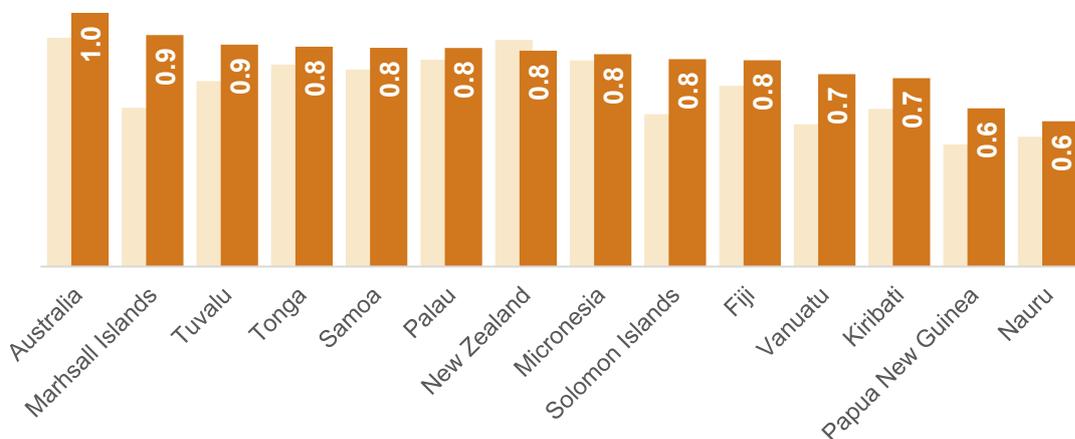
保護は、女の子のリーダーシップを育むために重要な基盤である。児童労働・児童婚・GBV等の問題は、女の子の発達と、指導力を発揮し生き生きと暮らす能力を著しく損なわせる。アジア太平洋地域での進展は認められるが、依然、重大な課題が存在する。2024年時点で、世界で約1億6,000万人の子どもが**児童労働**に従事しており、アジア太平洋地域は世界で2番目に児童労働に従事する子どもの数が多く、4,870万人に上る。彼らの大半は農業・衣料品・水産物部門で働く。また、**児童婚**も依然として喫緊の懸念事項であり、2024年には20～24歳の女性の18.7%が18歳未満で結婚しており、2003年の24.1%よりは減少しているが、今のペースでは児童婚の撲滅は2092年までかかる可能性がある。世界で最も児童婚の多い国はインドで、18歳未満で結婚した女性は1,560万人に上り、バングラデシュがこれに続く。**GBV**はさらにこれらの課題を悪化させる。東南アジアでは、15～49歳のパートナーのいる女性の33%が**親密なパートナーから身体的/性暴力**を経験しており、東ティモールやバヌアツ等では世界平均を上回っている。**親密なパートナーからの暴力(IPV)以外の暴力**に関するデータが乏しいことは、包括的な報告の必要性を強調しているが、恐怖やスティグマにより告発を押しとどめられることが多い。これらの保護のギャップに対処することは、同地域で女の子のリーダーシップの可能性の実現を妨げる障壁を取り除くために必須である。

## 保護指数 - アジア



2024年アジア保護指数は、地域全体で顕著な改善が見られ、**シンガポール、モルディブ、フィリピン**がその進歩を牽引している。シンガポールは首位を維持し、**モルディブとフィリピン**は**児童婚**の削減と女性の暴力からの保護に関して大幅な進歩を遂げた。**ベトナム、インドネシア、タイ**等の国々も力強い改善をみせ、子どもの保護の強化とIPVへの対策が進んでいることが示された。一方、**アフガニスタン**は後退をみせ、児童労働や女性への暴力の撲滅における深刻な課題を明らかにした。**バングラデシュ、ネパール・ラオス**等の国々では進展が見られるが、それらの国々では、特に児童婚やGBVIに関する保護面で依然、重大な格差が存在する。

## 保護指数 - 太平洋



2024年太平洋保護指数は、**オーストラリア**が牽引役を維持し、**マーシャル諸島、ツバル、トンガ、サモア**が**児童婚**の減少と女性への暴力の撲滅において著しい改善を達成し、大幅な前進を示した。**パラオ、ミクロネシア、フィジー**も保護の取り組みの強化が反映され、力強い改善を達成した。だが、**パプアニューギニアとナウル**は、若干の進歩はあったとはいえ、依然として最下位国に位置し、IPVへの対策に関して深刻な課題に直面している。

ニュージーランドは若干の後退となり、特にIPVに対する保護対策に引き続き重点的に取り組む必要性が示された。

## GLI の背景

本領域では地域全体で改善傾向がみられるが、アジア太平洋両地域で最も進展が遅く、依然、重大な問題であるのが、IPVである。多くの国で、15歳以上の女性への親密なパートナーからの身体的/性暴力の発生率の高さに苦慮している。

この問題についてさらに掘り下げてみる。

**問: アジア太平洋地域の現行法は、IPVに対し、どの程度効果的か**

**答え:**

- **執行上の問題:** ASEAN諸国の中には、法で定める家庭内暴力の定義に特定の暴力行為を除外している国もある。これにより、裁量や法律解釈の余地を生む。例えば、カンボジアの法律では、同情・共感・憐み・誠実さを伴って行われる場合は、しつくとみなし、認めるとしている。また、タイの法律は、家庭内暴力の定義で「非倫理的支配」に触れており、この存在が家族の構成員の違法行為を許容する。特定の行為が「非倫理的支配」に相当しないとみなされる場合、暴力に対して寛容になる余地が生じている。
- **社会規範の問題:** 文化・社会規範が女性への暴力をしばしば肯定し、効果的な法の施行を困難にする。例えば、慣習・信仰に基づく規則が、GBVの危険に瀕した女性に不利に働き、被害者への補償よりも和解を重視する太平洋の国々もある。

**問: アジア太平洋地域でのIPVの通報を妨げる主な障壁は何か**

**答え:**

- **文化・社会的障壁:** 報復やスティグマへの脅威・文化および宗教的な価値観・言葉の壁等、文化・社会的規範は、IPVの通報を阻む厚い障壁となり得る。
- **経済的障壁:** サバイバーが低賃金で雇用されており、パートナーと離れ、自活することができない場合がある。
- **法的障壁:** ミャンマーのように、婚姻内レイプが罪に問われない場合、通報や救済を求めることがさらに困難になる。

## 補助指数



### 健康

#### アジア

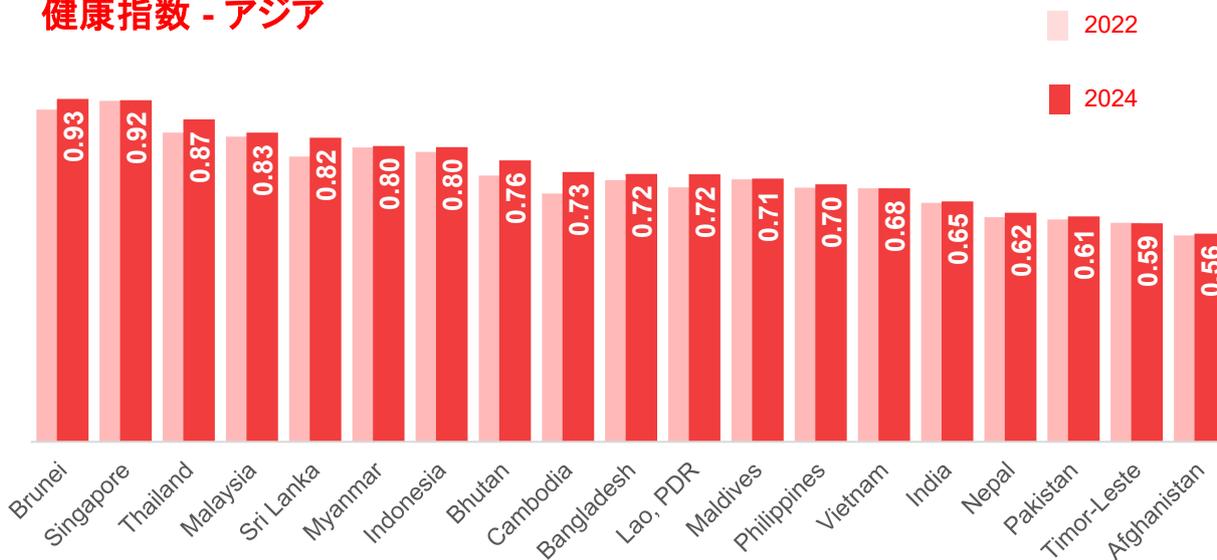
- 思春期の出産率(15~19歳の女性1,000人当たりの出産数)
- 現代的な方法で家族計画のニーズが満たされている15~19歳の女性の割合
- 発育不良・低身長発生率、女性(5歳未満児の割合)
- 自殺死亡率(15~19歳)、女性(女性10万人当たり)

#### 太平洋

- 思春期の出産率(15~19歳の女性1,000人当たりの出産数)
- 自殺死亡率(15~19歳)、女性(女性10万人当たり)
- 妊産婦死亡率(正常分娩10万例当たり)
- 現代的な避妊法普及率(15~19歳)

女の子が成長し、リーダーシップを発揮する能力は、健康により支えられている。思春期の妊娠率の高さは、生殖に関する健康教育やサービスの不足によるものであり、妊娠時には合併症を引き起こすなど、ユース女性の死亡や障害の主因となっている。これにより、彼女たちの潜在能力は損なわれている。栄養不良は、5歳未満の子どもの発育阻害率の高さに顕著に表れており、女の子の身体的・認知的発達を妨げる構造的な社会経済的課題を暗示している。うつ病や不安症等の精神疾患は罹患率が上がっているが、これは15~29歳のユースの死因の第2位である自殺に帰結するなど、さらなる潜在的なリーダーの喪失につながる可能性もある。

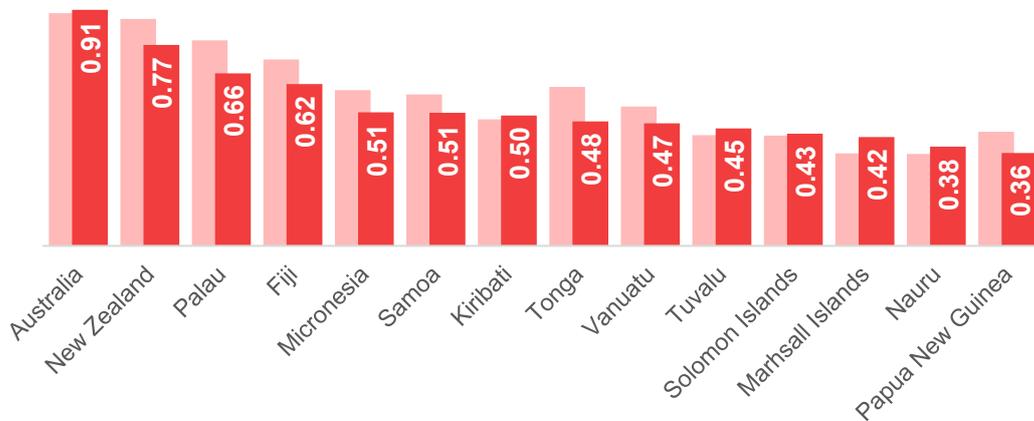
### 健康指数 - アジア



2024年アジアGLI健康指数は、**東ティモール**が0.00100と微減し、ベトナムが横ばいだったことを除けば、地域全体で前進がみられた。これは、女の子とユース女性に影響する健康の重要な領域での改善を意味する。アジアのほとんどの国が本領域で得点を上げ、**カンボジア**は0.058もの大幅な改善をみせた。**ブルネイ**は、2022年の**シンガポール**の得点を上回り、健康領域で新たな先導国となった。

**アフガニスタン**は最下位となり、健康に関する問題が山積していることが示された。

## 健康指数 - 太平洋



2024年太平洋GLIでは、女の子とユース女性の健康領域での結果に大きな差異が認められた。**ニュージーランド、パラオ、フィジー、ミクロネシア、サモア、トンガ、バヌアツ、パプアニューギニア**では健康指数が低下し、健康領域での後退を示唆した。一方、**オーストラリア、キリバス、ツバル、ソロモン諸島、マーシャル諸島、ナウル**では改善がみられた。**オーストラリア**は、健康指数を0.0129と若干上昇させ、先導的な地位を維持した。2024年は、**パプアニューギニア**が最低得点を示し、これは、2022年に**ナウル**が記録した最低得点を更新し、健康領域に対応を要する重大な問題が存在することを示している。

## GLI の背景

2024年GLIで最も顕著な改善がみられたカンボジアの、女の子とユース女性の健康領域での大幅な改善に寄与した主な要因を検証する。

### カンボジア: 健康領域での目覚ましい前進

カンボジアは、包括的な戦略を講じて、2022年の14位から2024年には9位へと順位を上げ、健康領域で著しい前進を遂げた。15～19歳の女性で、近代的な避妊方法によって家族計画のニーズが満たされている人の割合は、2022年の45.8%から2024年には53%に増加し、家族計画プログラムの有効性が示された。さらに、15～19歳の女性10万人あたりの自殺死亡率は、2022年の2.8人から2024年には0.93人に減少した。この減少は、メンタルヘルスに関する包括的な精神衛生キャンペーンの成功を反映しており、意識の向上、スティグマの軽減、相談や支援サービスの利用の向上につながっている。これらの成果は、ユース女性が情報を基に意思決定を行い、健康で力強い生活を送るために必要なリソースを受け取れるよう保証した、政府の取り組みとNGOの協調的な活動の成果である。



## 政治的発言力と代表性

### 補助指数

#### アジア

- 国会における女性議員の割合
- 女性の証言が法廷で男性の証言と同じ証拠能力を持つ
- 行政当局に出生登録されている5歳未満の女の子の割合

#### 太平洋

- 国会における女性議員の割合
- 行政当局に出生登録されている5歳未満の女の子の割合
- 女性も男性同様にパスポートを申請できる

政治的発言力と代表性は、女性と女の子が政策に影響を与え、自身の権利を主張する能力を根幹から形作る。女性は政府内の意思決定の場で極めて少数派であり、議会でのジェンダー比の均衡は依然、遠い目標である。国会で適正な数の代表が実現しなければ、女性の特定のニーズや課題に対処する法律や政策の策定が困難になる。また、法廷で女性の証言が男性の証言と同等の証拠能力を持つことが保証されることは、女性の声が等しく尊重・考慮される司法制度を構築する上で極めて重要だ。この法的平等は、女性が社会・政治の分野に自信を持って全面的に参加することを促す。

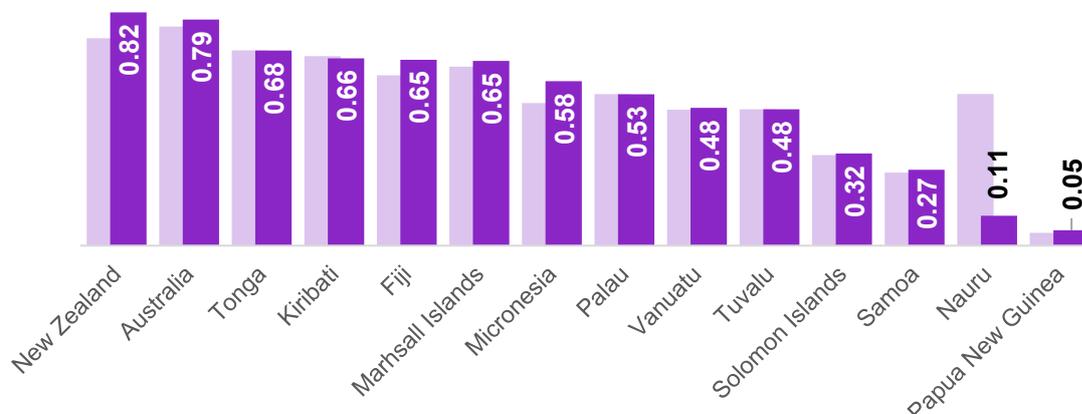
### 政治的発言力と代表性指数 - アジア



2024年アジアGLI指数では、**シンガポール**が女性と女の子の政治参加を推進する先導国となり、**ベトナム**と**フィリピン**がそれに続いた。**シンガポール**は、特定の部門でのジェンダー・クォータ制の義務化や女性候補者への手厚い支援等、積極的な政策を採り、女性の政治参加を大幅に拡大した。**ベトナム**と**フィリピン**も、議会での女性議員を増員し、政治参加におけるジェンダー平等を推進する法律を施行して、大幅な前進を遂げた。

反対に、継続的な政治的不安定と、政府での女性の活躍を制限する文化的障壁により、**パキスタン**は0.23178で本領域最下位となった。保守的な社会規範や安全保障上の課題の影響を受けた、複雑な政治環境は、政治的意思決定での女性の効果的な活躍を妨げている。

## 政治的発言力と代表性指数 - 太平洋



太平洋地域では、**オーストラリア**が本領域で最高得点を獲得し、**ニュージーランド**と**トンガ**がそれに続いた。一方、最下位は**パプアニューギニア**で、0.054であった。**オーストラリア**はジェンダー・クォータ制や女性候補者への手厚い支援体制等、ジェンダー平等を政治的代表性において促進する強力な政策を採り、最高位に位置した。**ニュージーランド**と**トンガ**も大幅な前進をみせており、**ニュージーランド**は女性議員の割合において高水準を確保し、**トンガ**は女性の統治参加拡大のための取り組みを実施している。一方、**パプアニューギニア**は、議会での女性議員の割合が低く、女の子の出生登録が限定的な上、女性のパスポート取得を制限する政策が存在し、ジェンダー平等と女性の政治的エンパワーメントに関して広範な問題が存在していることを露呈した。

## GLI の背景

**「女性の政治における存在感は依然微弱で前進も遅々としているが、島全体で意識の変化が求められている」。**  
(UNDP Pacific、2024年)

ナウルは、2022年と比較して2024年GLIの政治的発言力と代表性領域で-0.4272の大幅な低下がみられた。これは主に、議員19名中女性議員は2名のみ、という議会での女性の存在感の低さが改善されないことが原因である。文化的障壁や高額な選挙費用がさらに女性の立候補を思いとどまらせており、同時に女性のパスポート取得を制限する政策が女性の自由な移動や政治参加を妨げている。加えて、5歳未満の女の子の出生登録率の低さが、彼女たちの法的認知や必須サービスの享受を阻んでいる。これらの障壁に対処することは、ナウルでのジェンダー平等を促進し、女性が主導的役割を担う力を得るために極めて重要である。

## 補助指数



## 法律と政策

### アジア

- 第1の法律: 父母から財産相続する権利に関し、息子と娘に平等な権利が保証される
- 第2の法律: 同一価値労働同一賃金
- 第3の法律: 雇用におけるセクシャル・ハラスメントに関する法律
- 第4の法律: 児童婚を禁止または無効化する法律
- 第5の法律: 家庭内暴力に特化した法律

### 太平洋

- 第1の法律: 父母から財産相続する権利に関し、息子と娘に平等な権利が保証される
- 第2の法律: 家庭内暴力に特化した法律
- 第3の法律: 雇用におけるセクシャル・ハラスメントに関する法律
- 第4の法律: 児童婚を禁止または無効化する法律
- 第5の法律: ジェンダーに基づく融資利用に対する差別を禁止する法律

ジェンダー平等の達成と女の子とユース女性の権利保護には、ジェンダー的・社会的に包摂的な法的・政策的枠組みが必須である。女の子の教育・経済的機会・安全な環境の享受を制限する制度的な障壁を撤廃するには、強力な法的保護が求められる。包括的な法律を制定・施行することで、各国は、女の子が主導的役割を担い、社会開発に積極的に参加し、コミュニティに有意義な変化をもたらすことを助ける環境を醸成することができる。

## 法律と政策指数 - アジア

アジア	法律指数	法律-1	法律-2	法律-3	法律-4	法律-5	法律領域順位
ネパール	1	✓	✓	✓	✓	✓	1
フィリピン	1	✓	✓	✓	✓	✓	1
ベトナム	1	✓	✓	✓	✓	✓	1
ブータン	0.8	✓	✓	✓	⊗	✓	2
インド	0.8	✓	⊗	✓	✓	✓	2
ラオス	0.8	✓	⊗	✓	✓	✓	2
タイ	0.8	✓	✓	✓	⊗	✓	2
東ティモール	0.8	✓	✓	✓	⊗	✓	2
カンボジア	0.6	✓	⊗	✓	⊗	✓	3
インドネシア	0.6	⊗	⊗	✓	✓	✓	3
シンガポール	0.6	✓	⊗	✓	✓	⊗	3

アジア	法律指数	法律-1	法律-2	法律-3	法律-4	法律-5	法律領域順位
スリランカ	0.6	✓	⊗	✓	⊗	✓	3
バングラデシュ	0.4	⊗	⊗	✓	⊗	✓	4
マレーシア	0.4	⊗	⊗	✓	⊗	✓	4
モルディブ	0.4	⊗	⊗	✓	⊗	✓	4
パキスタン	0.4	⊗	⊗	✓	⊗	✓	4
アフガニスタン	0.2	⊗	⊗	✓	⊗	⊗	5
ミャンマー	0.2	✓	⊗	⊗	⊗	⊗	5
ブルネイ	0	⊗	⊗	⊗	⊗	⊗	6

アジアの大部分の国で、雇用におけるセクシャル・ハラスメントに対する法律が存在するが、ミャンマーとブルネイにはない。同一価値労働同一賃金を導入しているのは、ネパール、フィリピン、ベトナム、ブータン、タイ、東ティモールの6カ国のみである。ネパール、フィリピン、ベトナムは、5つのジェンダーに関する必須の法律と政策をすべて定めており、同地域を先導している。対照的に、ブルネイは、同地域で唯一、それらの重要な措置を全く講じていない国である。女の子とユース女性がリーダーシップの可能性を発揮できる、公平な社会を構築するためには、これらの欠落への対応が必須である。

## 法律と政策指数 - 太平洋

太平洋	法律指数	法律-1	法律-2	法律-3	法律-4	法律-5	法律領域順位
オーストラリア	1	✓	✓	✓	✓	✓	1
ニュージーランド	1	✓	✓	✓	✓	✓	1
フィジー	0.8	✓	✓	✓	✓	⊗	2
キリバス	0.8	✓	✓	✓	✓	⊗	2
サモア	0.6	✓	✓	✓	⊗	⊗	3
バヌアツ	0.6	✓	✓	⊗	⊗	✓	3
マーシャル諸島	0.4	⊗	✓	⊗	⊗	✓	4
ミクロネシア	0.4	✓	✓	⊗	⊗	⊗	4
パプアニューギニア	0.4	✓	✓	⊗	⊗	⊗	4
ソロモン諸島	0.4	✓	✓	⊗	⊗	⊗	4
パラオ	0.2	⊗	✓	⊗	⊗	⊗	5

太平洋	法律指数	法律-1	法律-2	法律-3	法律-4	法律-5	法律領域順位
トンガ	0.2	⊗	✓	⊗	⊗	⊗	5
ナウル	不明	不明	不明	不明	不明	不明	
ツバル	不明	不明	不明	不明	不明	不明	

太平洋地域では、**オーストラリア**と**ニュージーランド**が5つの法律と政策すべてを施行し、首位に位置した。一方、**ナウル**と**ツバル**は、これらの補助指数のいずれにも対応する法律を有していない。**パラオ**と**トンガ**は、家庭内暴力に特化した刑事罰を定めた法律のみを有している。**ナウル**と**ツバル**を除き、太平洋地域でこの特化した法律が最も浸透していることは特筆に値する。

## GLI の背景

### アジア太平洋地域では児童婚は依然として重大問題である

児童婚は依然、世界規模の大きな問題であり、推定**6億4,000万人**の現在生存する**女の子と女性**が子ども時代に結婚している。毎年、約**1,200万人**の女の子が18歳未満で結婚を強いられ、早急な対策が施されなければ、この数は2030年までに**1億人**を超え、持続可能な開発目標の「児童婚を終わらせる」という目標を達成することが難しくなる。

児童婚は深刻な問題であるが、GLIから、アジア太平洋地域の多くの国で、この慣習を禁止・無効化する法律が欠如していることが判明した。アジアでは、ブータン、タイ、東ティモール、カンボジア、スリランカ、バングラデシュ、マレーシア、モルディブ、パキスタン、アフガニスタン、ミャンマー、ブルネイが、太平洋地域では、サモア、バヌアツ、マーシャル諸島、ミクロネシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、パラオ、トンガ、ナウル、ツバルがそれらに含まれる。そのような法律の欠如は、ジェンダー不平等を恒久化させ、ユース女性のエンパワーメントを妨げ、教育機会・経済参加・リーダーシップ発揮の機会を制限する。



# 気候変動 対策

## 補助指数

### アジア

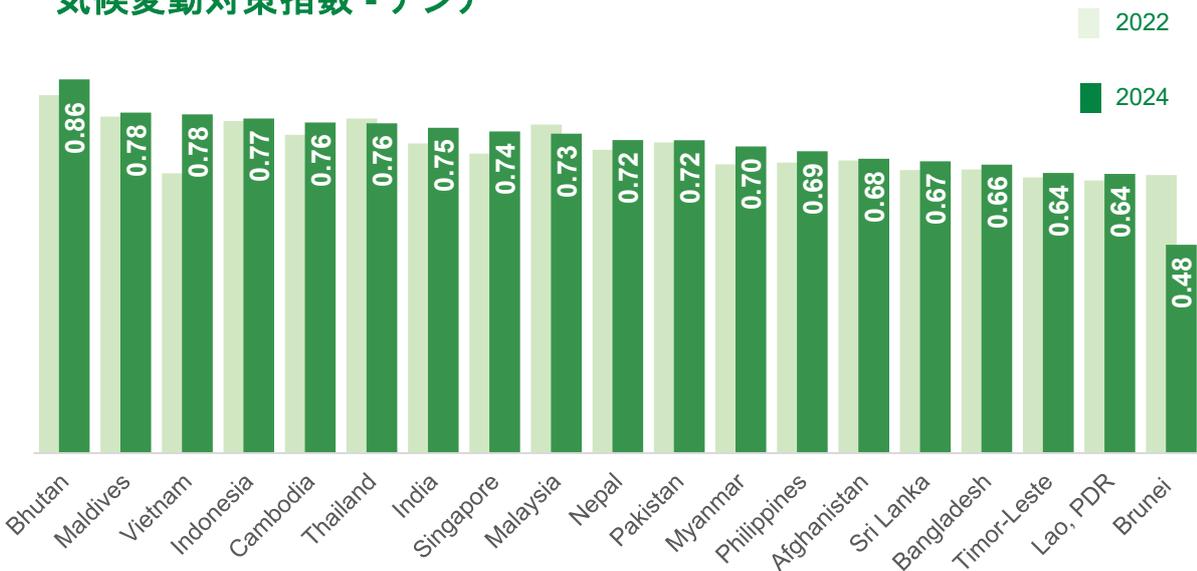
- 災害による死者および行方不明者数(人口10万人当たり)
- 災害による直接的被災者数(人口10万人当たり)
- クリーン燃料・技術を主に利用している人口の割合(%)
- 陸域および海域の保護地域(総領土面積に占める割合)
- 二酸化炭素排出量、一人当たりの生産排出量(トン)
- 気候変動に関するパリ協定(2021年更新)に基づくNDCの提出国

### 太平洋

- 災害による死者および行方不明者数(人口10万人当たり)
- 災害による直接的被災者数(人口10万人当たり)
- クリーン燃料・技術を主に利用している人口の割合(%)
- 陸域および海域の保護地域(総領土面積に占める割合)
- 二酸化炭素排出量、一人当たりの生産排出量(トン)

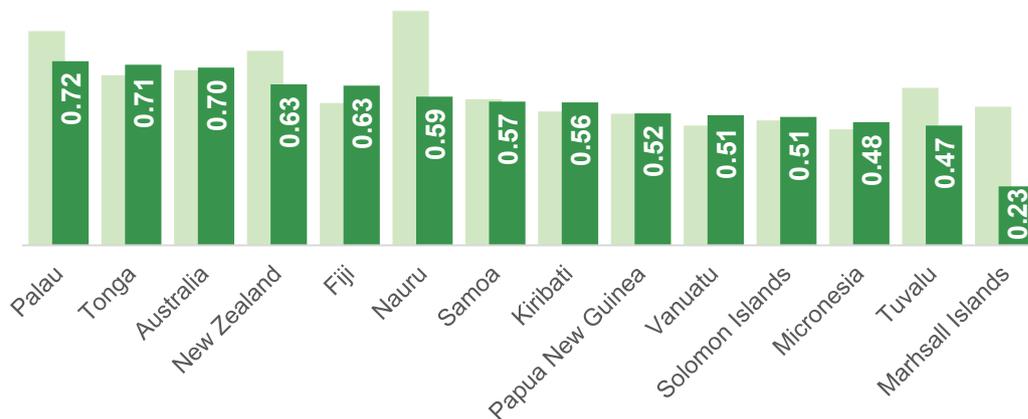
気候変動対策の領域では、気候変動が女の子とユース女性に及ぼす独特で不平等な影響に着目している。気候危機により、女の子が日々経験する不平等はさらに拡大し、2025年までに毎年最大1,250万人の女の子が学業を修了できなくなる可能性がある。年齢やジェンダー、交差性等の要因により、気象災害が生計・教育・健康・幸福全般に与える不平等な影響が悪化し、女の子とユース女性は気候変動対策や提唱活動の最前線に立たされている。女の子が、必要とする発言力・力・主体性を得ることは、有意義な気候正義の推進と、彼女たちの貢献が未来の世代のための持続可能で公平な解決策につながることを保証するのに必須である。

## 気候変動対策指数 - アジア



アジアは、気候変動対策領域で全体的な改善を示し、気候変動への対応と気候変動に対するレジリエンスと提唱活動に関連する女の子のエンパワーメントのための取り組みの強化が反映されている。だが、進捗状況には差がみられ、**タイ、マレーシア、ブルネイ**が遅れをとっている一方で、**ブータン**は0.036増で1位となった。この開きは、**タイ、マレーシア、ブルネイ**がジェンダーを考慮した包摂的な気候変動戦略を早急に講じる必要があることを明確に示している。持続可能な開発の推進には、気候変動政策の効果的な実行の優先が絶対条件である。

## 気候変動対策指数 - 太平洋



太平洋地域では、**パラオ**が0.1189と微減しつつも、今回も1位となった。他方、**ナウル**と**マーシャル諸島**はそれぞれ-0.3の大幅な後退を示し、それは災害関連死の増加・クリーン燃料の利用度の低さ、不十分な環境保護、大量の二酸化炭素排出等の問題を示している。それらの国々の結果は、彼らが早急に気候変動戦略に投資し、環境政策を強化する必要があることを明確に示している。

## GLI の背景

### ブルネイは、気候変動対策の領域で重大な後退を経験した

アジアの19カ国すべてが、気候変動に関するパリ協定の下でNDCを提出し、そのうち16カ国で得点が改善した。中でもベトナムは最も顕著な改善をみせた。

ブルネイは-0.4272という最大の低下を示し、アジア19カ国中、最下位となった。これは主に、同国が依然として炭化水素資源に依存していることが原因である。エネルギー部門が温室効果ガス排出量の最大の発生源であり、総排出量の54.6%を占めている。クリーン燃料や再生可能エネルギー技術の導入の遅れや、電気自動車用のインフラ整備や財政的インセンティブの提供が課題となっており、本領域での前進を妨げている。ブルネイは、ブルネイ国家気候変動政策を通じて、2035年までに再生可能エネルギー利用を30%に引き上げるという野心的な気候変動対策目標を掲げているが、その実施は不十分である。さらに、ブルネイの二酸化炭素回収・有効利用・貯留技術の導入や再生可能エネルギー容量の拡大に向けた取り組みは未だ初期段階であり、気候変動対策の得点を改善する能力の足かせとなっている。



© Plan International

# 提言:

## 2024年GLIに基づく

本セクションでは、2024年GLIに基づき、緊急の開発介入を必要とする国や領域を明示する。主要な問題と根本原因を明らかにし、ステークホルダーが重点的な投資と介入を行うための効果的な提言を提示する。提案された行動は、2つの主要戦略に重きを置いている:

- 1) 得点の低い国(各領域で2024年の指数が下位3位に入った国)と得点を下げている国を優先的に対処し、重大なギャップの縮小と影響の最大化を図る。
- 2) 同地域での好事例と国際標準を活用し、類似の課題に対して適応可能な解決策を策定する。

### 教育

全体的に前進が認められるが、**社会経済的な障壁・文化的な規範・インフラの不備**等で、依然として大きな格差が存在する。女性の低就学率・インターネット利用の制限・中等/高等教育の低修了率は、女の子に不平等な影響を与え、彼女たちのリーダーシップの可能性を損なわせている。

#### 優先国:

アフガニスタン、  
パキスタン、  
カンボジア、ラオス、  
パプアニューギニア・ナウル、ソロモン諸島

### 開発への提唱活動支援と取り組み:

#### 市民社会と開発コミュニティ



**目的を絞った介入による女子教育の変革: *Because I Am a Girl***キャンペーンは、4億3600万ユーロを動員し、提唱活動や直接的なプログラムを通じて17カ国の教育政策を変更させた。その代表的な成果としては、国連のグローバル目標に230万人が署名した請願書を通じて影響を与えたことと、コミュニティ学習センターを通じて、不就学の9~12歳の女の子を対象に、9か月の集中的な基礎教育を提供する**加速学習プログラム**の実施が挙げられる。



**女子教育を推進するためのコミュニティ主導型プログラムの拡大:** 地元のステークホルダーを巻き込み、女性の就学率と在学率の向上を図る。コミュニティとの緊密な連携とボランティア育成により、75万人超の不就学の女の子を就学させた、**インドの*Educate Girls*プログラム**等の成功モデルを導入すること。

#### 民間部門:



**デジタルへのアクセス性とデジタルリテラシーの改善:** 政府・教育機関と協力し、安価なインターネットインフラと女の子のためのデジタルリテラシープログラムへの投資を行うこと。

これは、十分なサービスを受けないコミュニティでのデジタルスキルを向上させる **Girls Go Digitalプロジェクト**等の取り組みと合致する。

### **政府と政策立案者:**



**女の子に平等な教育機会を保証する政策の強化:** 経済的インセンティブの導入や安全な学習環境の整備等、中途退学率を改善するための措置を講じること。

## 経済的機会

### **優先国:**

アフガニスタン、パキスタン、  
バングラデシュ、ミクロネシア、  
パプアニューギニア、  
ソロモン諸島、バヌアツ

金融包摂・ユースの雇用・女性管理職における格差は、深刻な社会経済問題の表れである。**限定的な地方開発・不十分な教育・社会規範**が、ユース女性に非正規労働や家事労働を押し付け、彼女たちの経済的な展望を狭めている。児童婚や思春期の妊娠は、彼女たちの教育や労働参加を一層妨げ、彼女たちの経済的な脆弱性を高める。

### 開発への提唱活動支援と取り組み:

#### **市民社会と開発コミュニティ:**



**雇用に対する社会経済的障壁への対処:** 児童婚の影響に関して啓発を行い、ユース女性の経済的機会を促進するコミュニティプログラムを実施すること。



**経済的機会を通じたユースの支援:** プラン・インターナショナルの**SOYEE**活動は、疎外されたユース、特にユース女性に焦点を当て、40カ国超で経済的エンパワーメントプロジェクトを実施している。SOYEEは、市場主導の就業スキル・金融リテラシー研修・仲間同士のメンタリングを提供し、2030年までに1億3900万の新規雇用を生み出す可能性を秘めた、グリーン・デジタル・クリエイティブ経済等の新興部門での就職斡旋・就職支援をしている。

#### **民間部門:**



**金融リテラシーと起業機会の改善:** ベトナムの**SheMeansBusiness**の取り組みのようなプログラムを実施し、デジタル・金融スキルを女性に与え、効果的な事業の立ち上げ・発展ができるようエンパワーメントすること。



**リーダーシップにおけるジェンダー多様性の推進:** 東南アジアでUnileverが実施する、将来の人材の育成と女性の活躍支援に重点を置いた**Women Empowermentプログラム**に倣い、メンターシッププログラムの確立とジェンダー比率目標を設定すること。



### **政府と政策立案者:**

**女性の労働力参加の支援:** 事業主がユース女性を雇用し、労働市場に関連するスキルを向上させるための教育・職業訓練に投資するよう奨励すること。

## 保護

男性の権威と**制度的不平等**を支える強固な**文化規範**が、女性への暴力を助長している。**脆弱な法的枠組み**と不十分な施行が、その脆弱性を一層高め、保護の領域での前進を妨げている。

### **優先国:**

ラオス、バングラデシュ、アフガニスタン、ナウル、パプアニューギニア、キリバス

### **開発への提唱活動支援と取り組み:**



### **市民社会と開発コミュニティ**

**GBVを支える有害な社会・ジェンダー規範を変革するための活動支援:** プラン・インターナショナルの**Champions of Change**の活動は、女の子がリーダーシップスキルを身につけ、男の子が有害な男性性に立ち向かうことを促す。例えばネパールでは、参加者がGBVに挑むためのコミュニティワークショップを運営し、ベトナムでは児童婚撲滅に焦点を当てたユース主導のキャンペーンを実施した。これらの活動は、コミュニティ全体の意識と連帯感を育み、女性への暴力の根本原因に直接的に対処する保護行動を奨励し、スティグマの軽減につながる。



**暴力や虐待のサバイバーへの支援サービスの強化:** サバイバーに相談サービス・経済的支援・必要なリソースを提供する、Women United Together Marshall Islandsの**Weto in Mourプログラム**のようなプログラムを実施すること。



### **民間部門:**

**説明責任と人権尊重の保証:** 児童労働を防止するために然るべき行動をとり、サプライチェーンマネジメントの責任を徹底することで、**国連ビジネスと人権に関する指導原則**を遵守すること。



### **政府と政策立案者:**

**地域レベルの取り組みへの投資:** ジェンダー平等を推進とサバイバーの支援を行う、**Pacific Partnership to End Violence Against Women and Girls**等のプログラムに参加すること。国レベルでは、暴力や児童搾取の根本原因に対処するために、国際基準に沿った法の強化を行うこと。

## 健康

### 優先国:

パキスタン、東ティモール、  
アフガニスタン、  
マーシャル諸島、ナウル、  
パプアニューギニア

生殖に関する健康・栄養・精神衛生面での前進は顕著だが、サービス利用の難しさ・精神衛生に対するスティグマ・医療インフラの不備等により、依然、重大な問題が存在する。高い思春期の妊娠率・女の子の栄養不良・精神衛生上の問題の増加は、女の子とユース女性のリーダーシップの可能性を損なわせている。

### 開発への提唱活動支援と取り組み:

#### 市民社会と開発コミュニティ:



コミュニティベースの健康プログラムの拡大: American Public Health Associationによる Community Health Workerプログラムのような、十分なサービスを受けない地域で医療従事者に生殖に関する健康や精神衛生サービス提供のための研修を実施すること。



質の高い医療サービスへのアクセスの向上: プラン・インターナショナルの、バングラデシュ・ガーナ・ハイチ・ナイジェリア・セネガルでの質の高い医療サービスへの障壁を打破する、**Strengthening Health Outcomes for Women and Children**等のプロジェクトを実施すること。これは、医療設備の改善・医療従事者の研修・ジェンダーステレオタイプ排除・女性の健康と意思決定の支援への男性の参加を通じて、妊産婦と子どもの死亡率を減少させる取り組みである。



#### 民間部門:

医療技術とサービスへの投資: テクノロジー企業と協力し、生殖に関する健康・栄養・精神的幸福に関する情報を供給する、情報端末用の健康に関するアプリを開発・展開し、十分なサービスを受けないコミュニティのアクセスを強化すること。



#### 政府と政策立案者:

医療インフラへの資金投入の増加: 特に地方や十分なサービスを受けない地域の医療施設への投資を優先し、女の子とユース女性が質の高い医療サービスを公平に利用できるよう保証すること。

## 政治的発言力と代表性

前進がみられる部分もあるが、アジア太平洋地域の女の子とユース女性の平等な政治的発言力と代表性の発揮を妨げる厚い障壁は依然、存在する。政治機関への参加率の低さ・限られたリーダーシップ研修の機会・女性のリーダーシップ発揮を否定する社会通念が、政策や意思決定プロセスに彼女たちが効果的に影響を与える能力を制限する。

### 優先国:

アフガニスタン、ブルネイ、パキスタン、サモア、ナウル、パプアニューギニア

### 開発への提唱活動支援と取り組み:



#### 市民社会と開発コミュニティ:

**リーダーシップ研修の強化:** NGOと提携し、**Women and Youth in Democracy Initiative**の一部である**Women's Leadership Initiative**等の実績あるプログラムに参加・関与して、女の子とユース女性に対してリーダーシップと提唱活動の研修を実施すること。



**エンパワーメントキャンペーンの実施:** プラン・インターナショナルの、女の子とユース女性が自身の人生の主導権を握り、コミュニティを形成するのを支援するために世界中のユース活動家が参加した、**Girls Get Equal**キャンペーン等のプロジェクトを実施すること。同キャンペーンは、女の子とユース女性がコミュニティやより大規模な場でリーダーシップを発揮するために必要なスキルと機会を提供して、彼女たちをエンパワーメントすることを目的とする。そして、リーダーシップの資質の育成・提唱活動のスキルの向上・継続的な個人および職業上の成長を支援するネットワークの構築に重点を置いている。



#### 民間部門:

**女性候補者の支援:** 企業が、公職に立候補するユース女性のスポンサーやメンターとして支援し、指導的役割におけるジェンダーの多様性を促進する協力関係を築くよう働きかけること。



#### 政府と政策立案者:

**ジェンダー・クォータ制の導入:** **ルワンダやスウェーデンの成功モデル**に倣い、政治機関においてジェンダー・クォータ制を導入し、女性議員の最低議席数を定めること。

## 法律と政策

アジア太平洋地域では、法的・政策的枠組みに依然、大きなギャップが存在する。多くの国で、児童婚・同一賃金・職場におけるセクシャル・ハラスメント・家庭内暴力等の重要な問題に包括的に対処する法律が欠如している。

### 優先国:

バングラデシュ、マレーシア、モルディブ、パキスタン、アフガニスタン、ミャンマー、ブルネイ、マーシャル諸島、ミクロネシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、パラオ、トンガ、ナウル、バル

## 開発への提唱活動支援と取り組み:

### 市民社会と開発コミュニティ:



ジェンダーを意識した包括的な法律の提唱: 国連女性機関の、児童婚の禁止・同一賃金の保証・家庭内暴力への対応等、ジェンダー関連の重要な法律の採択・施行を求めるキャンペーンを行う、**Policy Advocacy Program**のようなプログラムを実施すること。



支援的な政策による、ユースの性と生殖に関する健康サービス利用の促進: プラン・インターナショナルがマラウイで、遠距離・包括的性教育の欠如・有害な社会規範等の障壁に対処する支援政策の施行により実施している**Youth Community-Based Distribution Agents (YCBDAs)**プログラム等の取り組みの実施を提唱すること。コミュニティとのつながり・ユースクラブの運営・医療サービス利用を支援するYCBDAsの研修を支援することは、ユース向けの医療サービスの活用の促進と10代の妊娠の減少につながるだろう。

### 民間部門:



ジェンダーに配慮した包括的な方針の採用: 同一価値労働同一賃金やハラスメント対策等、ジェンダー平等を支援する内部方針の採用を企業に奨励すること。**国連女性のエンパワーメント原則**に賛同する企業と協力し、企業の行動を国際的なジェンダー平等基準に一致させること。

### 政府と政策立案者:



ジェンダー関連法の強化・施行: 包括的なジェンダー関連法を施行し、効果的な執行と監督を徹底すること。ルワンダのジェンダー・クォータ制等の成功モデルを参考にすること。

## 気候変動対策

### **優先国:**

東ティモール、ラオス、ブルネイ、ミクロネシア、ツバル、マーシャル諸島

アジア太平洋地域は、依然として持続可能な低炭素経済への完全移行に対し、多くの課題を抱えている。災害による死者・行方不明者の多さや、陸・海域における不適切に限定された保護区域は、気候変動へのレジリエンスと環境の持続可能性を損なう要因となっている。

### 開発への提唱活動支援と取り組み:



#### **市民社会と開発コミュニティ:**

**気候変動政策におけるユースのリーダーシップ発揮にむけた支援:** プラン・インターナショナルの **Youth Leadership in Climate Policy Workbook** や **Facilitator's Guide** 等の取り組みを採用し、気候変動政策に対するユースの知識とスキルを強化すること。同Workbookは、気候変動に関してエンパワーメントするためのツールの提供、意思決定の場へのアクセスの促進、気候正義・公平性・公正性の概念の組み込みを目的としている。主な活動には、国家気候変動行動計画の策定、各ステークホルダーのマッピング、14歳以上のユースを対象とした気候変動政策行動計画の策定等が含まれる。



**持続可能な農業の推進:** 農業の生産性とレジリエンスを高め、持続可能な農業技術を通じて排出量を削減する、**国連食糧農業機関のClimate-Smart Agriculture** 等の取り組みを採用すること。



#### **民間部門:**

**再生可能エネルギープロジェクトの支援:** **国連環境計画のClean Energy Initiative** と提携し、再生可能エネルギー源の開発・投資を行うこと。この協力関係は、低炭素経済への移行の促進と化石燃料への依存減に寄与する。

#### **政府と政策立案者:**



**陸・海域の保護区域の拡大:** 生物多様性の保全・生態系サービスの強化・気候変動による災害に対する自然の防護壁の提供を目的として、保護区域を拡大する政策を実行すること。

# 横断的課題:

## 重点的行動実施のための優先事項

さまざまな領域で女の子のリーダーシップとエンパワーメントに影響を及ぼす問題の相互関連性に関し、いくつかの重要な発見が得られた。

### 児童婚

児童婚とは、「結婚に伴い、身体的・生理的・心理的に責任を負う準備が整う前である、18歳未満で執行されるあらゆる結婚」と定義される  
(Inter-African Committee、1993年)

児童婚は、早期妊娠や社会的孤立に迫りやることで女の子の発達を著しく損なわせ、女の子は教育を中断することとなり、教育領域にも悪影響を及ぼす。また、その結果、彼女たちのキャリアや職業訓練の機会が狭められ、究極的には経済的機会がさらに奪われ、夫への依存度が高まる。社会規範や慣習的・宗教的な法と相まって、この依存関係は家庭内暴力のリスクを高める。児童婚は、18歳未満での結婚と親密なパートナーによる家庭内暴力の発生率を測る補助指数を通じて、保護の領域に反映されている。また、特に児童婚を禁止する法律の有無に関して、法律と政策の領域にも影響を及ぼす。この問題は、アフガニスタン・パキスタン・バングラデシュ・パプアニューギニア等の国々で多発しており、それらの国々が2024年GLIの複数の領域で低い得点を示したことは、児童婚の影響が甚大であることを意味する。教育・経済・保護・法と政策の各領域において、それらの国々は下位半分に位置しており、女の子のリーダーシップの状況を改善するための行動が強く求められていることを示している。

### ジェンダー不平等

ジェンダー不平等は、教育機会・経済的エンパワーメント・暴力からの保護等、女の子の生活のあらゆる面に影響を及ぼす。このことは、真のジェンダー平等の実現には、包括的で部門横断的な戦略が必要であることを示している。

教育・経済機会における不平等は、女の子の個人としての発達とキャリア開発の両方の可能性を制限する。健康の領域では、医療へのアクセスの不平等さと暴力に対する脆弱性の高まりが、女の子の幸福と主導力を脅かしている。発言力・代表性に関しては、政治や意思決定の場での女性の存在感の低さが、ジェンダー平等を促進する政策の提唱を妨げている。

さらに、法律と政策の領域に関して、根深いジェンダーバイアスに対して法的枠組みが不完全であり、あらゆる面で不平等が存在し続けている。

ジェンダー不平等は、アフガニスタン・パキスタン・バングラデシュ・ブルネイ・ソロモン諸島・パプアニューギニア等の国々で広く認められる。それらの国々が2024年GLIの複数の領域で低い得点を示したことは、ジェンダー不平等の影響が女の子のリーダーシップに深刻な影響を与えていることを意味する。

## SRHRの享受の阻害

「健全な性と生殖に関する健康とは、生殖システムに関わるあらゆる事柄において、身体的・精神・社会的な幸福が完全に実現されている状態である。これは、人びとは充実した安全な性生活を営むことができ、生殖が可能で、また、いつ・どのように・どんな頻度でそうするかを自由に決める能力を有することを意味する」。(UNFP)

性と生殖に関する健康と権利(SRHR)の享受が制限される場合、健康の領域に悪影響が表れる。SRHRへの十分な支援の欠如は、女の子の罹患率と死亡率を上げ、彼女たちの総合的な健康状態と平均寿命を著しく悪化させる。不十分なSRHRの享受は、女の子の望まない妊娠につながり、彼女たちの教育や就業の道を妨げ、教育と経済機会に影響を及ぼし得る。女の子が健康で学業を修めた場合、労働力として加わり、経済成長に貢献し、経済的自立を実現する可能性が高い。経済的自立は、他者への依存を減らし、コミュニティ内外での指導的役割への参加を拡大する。また、自身の生殖に関する権利を理解し、避妊手段の利用が可能な場合、女の子は自身の身体に対する主導権を握り、早すぎる強制された結婚を防ぐことができる。

特に2024年GLIが健康領域で低い、アフガニスタン・東ティモール・パキスタン・パプアニューギニア・ナウル・マーシャル諸島等の国々では、SRHRの享受が不十分であることが広く認められている。



# 変革の促進: 女の子に明るい未来を

## 女の子とユース女性のための集団行動

女の子とユース女性のリーダーシップ育成には、彼女たちが団結し、自身の権利を主張するようエンパワーメントすることが必須である。これには以下が必要となる:

- **ユース、特に女の子を積極的な変革の担い手として関与させる:** プロジェクトや取り組みの設計・実施・評価に、ユースが有意義に関与できるように計画し、リソースを割り当てること。
- **ユース中心のプログラムモデルを採用する:** *Champions of Change*、*Young Citizen Score Card*、*Safer Cities*、*Girls in Crises* 等のモデルを活用し、ユースの関与を強化すること。
- **参加型・女の子中心の調査方法を採用する:** 参加型アクションリサーチや女の子中心の設計等のアプローチを通じて、ユース、特に女の子を最前線に引き出すこと。
- **女の子の組織や運動へリソースを提供する:** 女の子の組織が声を増幅し、運動を持続できるよう、重点的な資金と支援を提供すること。



## 女の子のリーダーシップを支援する環境づくり

同地域の現状を踏まえ、ステークホルダーは、女の子のリーダーシップの支援のために、以下に注力すべきである:

- **包括的な政策の策定をする:** ジェンダー平等を保証し、女の子が教育機会・経済的資源・リーダーシップ発揮の機会を得られる政策を策定・維持すること。
- **安全な表現の場を創出する:** 女の子が安全に意見を述べ、市民活動に参加できる保護された環境を創出すること。
- **地域の問題へ適応する:** 市民スペースの縮小や気候変動等の問題に包括的に対処し、それらの女の子のリーダーシップ能力に対する横断的な影響を認識すること。

### 今後の調査分野

今後の調査では、気候変動が女の子の教育や経済面での可能性に与える影響や、市民スペースの縮小がユース女性の運動に与える影響等、新たに現れてきた問題を掘り下げて調査すべきである。

詳細なリソースと提言については、[Plan International Resources](#)を参照のこと

# 査読

「本報告書は、女の子の状況がよく把握できるので、特に調査員にとって貴重なものです。女の子に関する調査は、克服すべき倫理的な問題があり、その実行が難しいのです。子どもを対象とする調査では、子どもという、極めて脆弱な集団に悪影響を及ぼさないよう、細心の注意を払う必要があります。本報告書は、調査活動が女の子の生活に及ぼす影響を最小限に抑えるために、どんな調査が必要かを特定する上で役立ち、調査に着手する際の足がかりと焦点を与えてくれます。

本報告書は、各国の順位を示す統計データだけでなく、変革に向けた提言も提示しており、これはプラン・インターナショナルのような、現地の実情に関する豊富な知識と問題解決における実績を持つNGOが発行する報告書の強みといえます。また、政策立案者や実践者だけでなく、変革をもたらす要因をより深く理解したい調査員にとっても有益な好事例も含まれています」。

## Kyoko Kusakabe

教授、ジェンダーと開発学、アジア工科大学院

---

「本報告書は非常に興味深く、また素晴らしいと感じました。女の子のリーダーシップを規定する枠組みを定義するのに適した世界的な基準が存在しない現在、本報告書はまさに必要とされているものです。本報告書の総合指標と構成指数は、さまざまな観点での脆弱性に対処するために何をすべきかについて、極めて包括的な考え方を提示しています。差異は、政策論議を活性化させる上で必須の項目です。各国は、本報告書を活用し、適切な対応の仕組みと予防戦略を創出するために必要な、各国の脆弱性の明確化に役立つ文脈の関連性と地域特性を評価するための国独自の取り組みを行うべきです」。

## Ravi Verma、博士

常務理事、International Center for Research on Women、アジア

「人権の完全な実現と基本的な自由の保護を目的に協力するCSOの連合であるCivicusは、真の持続的な平和と持続可能な開発を特徴とする未来を創造するために、さまざまな部門が果たす役割を認識しています。女の子とユース女性を含むユースの人権擁護者は、開かれた市民スペースの創出に明らかに貢献しています。残念ながら、GLIでも言及されたように、女の子の有意義かつ安全な政治参加のための場は、世界的な市民スペースの縮小傾向の影響を受けています。これは、ジェンダー平等とその擁護者に対する組織的な攻撃を展開する国家・非国家の反人権アクターに大きく起因する複合的な要因によるものです。そして、GLIは、女の子の権利の実現に影響を与える要因を体系的に分析し、政治参加だけでなく、女の子のリーダーシップを可能にする環境に影響を与える領域についても具体的に提言を行っているため、その重要性が高まっています。

私たちは、世界中の女の子とユース女性、そしてプラン・インターナショナルをはじめとする彼女たちを支援する組織と団結して立ち向かいます。私たちは、ジェンダー平等・人権・基本的自由の擁護者・支援者であり続けます。私たちは、この極めて重要な報告書を発行したプラン・インターナショナルAPACを称えます。これは、この時勢において、人権とジェンダー平等のための闘い続ける私たちにとって、称賛・活用すべき成果です」。

### Reylynne Dela Paz

グローバルアドボカシー・キャンペーンマネージャー、  
Civicus: World Alliance for Citizen Participation

# 参考文献

1. Trading Economics. (2024). Thailand - Lower Secondary Completion Rate, Female. Accessed at: <https://tradingeconomics.com/thailand/lower-secondary-completion-rate-female-percent-of-relevant-age-group-wb-data.html>
2. Statista. (2024). APAC: lower secondary school completion rate by country and gender. Accessed at: <https://www.statista.com/statistics/1278950/apac-female-male-lower-secondary-school-completion-rate-by-country/>
3. UN Women. (2023). Digital gender divide prevents the Asia-Pacific region from benefiting from untapped talent in women and girls. Accessed at: <https://asiapacific.unwomen.org/en/stories/press-release/2023/03/digital-gender-divide-prevents-the-asia-pacific-region-from-benefiting-from-untapped-talent-in-women-and-girls>
4. Asian Development Bank. (n.d.). Accelerating Digital Inclusion for Women and Girls in Asia and the Pacific. Accessed at: <https://www.adb.org/news/infographics/accelerating-digital-inclusion-women-girls-asia-pacific>
5. PacREF. (n.d.). PacREF Lauds Palau's Educational Progress Setting the Bar for Regional Progress. Accessed at: <https://pacref.org/pacref-lauds-palaus-educational-progress-setting-the-bar-for-regional-progress/>
6. WICHE. (n.d.). Republic of Palau. Accessed at: <https://www.wiche.edu/our-region/republic-of-palau/>
7. The Borgen Project. (n.d.). An In-Depth Look At Education in Palau. Accessed at: <https://borgenproject.org/update-on-education-in-palau/>
8. United Nations. (2023). Palau and the United Nations Sign the Country Implementation Plan. Accessed at: <https://micronesia.un.org/en/233749-palau-and-united-nations-sign-country-implementation-plan>
9. Statista. (2024). Share of youth not in education, employment or training, female (% of female youth population) in Thailand. Accessed at: <https://www.statista.com/statistics/1268381/thailand-share-of-youth-not-in-education-employment-or-training-female/>
10. Asian Development Bank. (2023). Female Labor Force Participation in Asia: Key Trends, Constraints, and Opportunities. Accessed at: <https://www.adb.org/publications/female-labor-force-participation-asia>
11. UN Women. (n.d.). Snapshot of Women's Leadership in Asia and the Pacific. Accessed at: <https://asiapacific.unwomen.org/en/news-and-events/in-focus/csw/snapshot-of-womens-leadership-in-asia-and-the-pacific>
12. UNCCD. (n.d.). Factsheet: Youth employment trends in Asia and the Pacific Regions. Accessed at: <https://www.unccd.int/sites/default/files/inline-files/YW3%20Factsheet-eng.pdf>

13. FinDev Gateway. (n.d.). Financial Inclusion in East Asia and Pacific. Accessed at: <https://www.findevgateway.org/region/financial-inclusion-east-asia-and-pacific>
14. Asian Development Bank. (2023). New ADB Report Shows Improvements for Women's Economic Empowerment but Gender Gaps Still Remain. Accessed at: <https://www.adb.org/news/new-ADB-report-shows-improvements-women-economic-empowerment-gender-gaps-still-remain>
15. Statista. (2024). Female unemployment rate APAC 2023, by country or region. Accessed at: <https://www.statista.com/statistics/645029/female-unemployment-rate-asia-pacific-by-country/>
16. World Bank. (2024). New Data Show Massive, Wider-than-Expected Global Gender Gap. Accessed at: <https://www.worldbank.org/en/news/press-release/2024/03/04/new-data-show-massive-wider-than-expected-global-gender-gap>
17. UNDP. (n.d.). Supporting Entrepreneurship and Employment for Women and Youth (SEEWAY). Accessed at: <https://www.undp.org/timor-leste/projects/supporting-entrepreneurship-and-employment-women-and-youth-seeway>
18. ILO. (n.d.). Labour market policies for the youth in Timor-Leste. Accessed at: <https://www.ilo.org/media/360466/download>
19. Asian Development Bank. (2024). Country Gender Equality and Women's Empowerment Plan. Accessed at: <https://www.adb.org/sites/default/files/linked-documents/cps-lao-2024-2028-gp.pdf>
20. UNICEF. (n.d.). Child Labour. Accessed at: <https://data.unicef.org/topic/child-protection/child-labour/>
21. UN Women. (n.d.). Facts and Figures: Ending Violence against Women and Girls. Accessed at: <https://asiapacific.unwomen.org/en/focus-areas/end-violence-against-women/evaw-facts-and-figures>
22. International Labour Organization. (n.d.). CHILD LABOUR. Accessed at: [https://www.ilo.org/sites/default/files/wcmssp5/groups/public/@ed\\_norm/@ipecc/documents/publication/wcms\\_797515.pdf](https://www.ilo.org/sites/default/files/wcmssp5/groups/public/@ed_norm/@ipecc/documents/publication/wcms_797515.pdf)
23. UNFPA. (n.d.). WINDOW OF OPPORTUNITY FOR REALIZING A DEMOGRAPHIC DIVIDEND- LAO PDR. Accessed at: [https://lao.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/dd\\_brief\\_eng.pdf](https://lao.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/dd_brief_eng.pdf)
24. UN Statistics Division. (2024). Gender Snapshot 2024. Accessed at: <https://unstats.un.org/sdgs/gender-snapshot/2024/GenderSnapshot2024.pdf>
25. UN Women. (n.d.). Facts and Figures: Ending Violence against Women and Girls. Accessed at: <https://asiapacific.unwomen.org/en/focus-areas/end-violence-against-women/evaw-facts-and-figures>
26. UN Women. (n.d.). Domestic Violence Legislation and its Implementation. Accessed at: <https://asiapacific.unwomen.org/sites/default/files/Field%20Office%20ESEAsia/Docs/Publications/2015/03/Domestic%20Violence%20Legislation%20and%20its%20Implementation-CEDAW.pdf>
27. SVRI. (n.d.). Exploring the Implementation of Policies to Address Violence Against Women in Cambodia. Accessed at:

[https://www.svri.org/sites/default/files/attachments/2020-02-05/p4p\\_working\\_paper\\_vaw\\_policies\\_cambodia.pdf](https://www.svri.org/sites/default/files/attachments/2020-02-05/p4p_working_paper_vaw_policies_cambodia.pdf)

28. UNDP. (n.d.). Criminalization of domestic violence on agenda of Central Asian countries. Accessed at: <https://www.undp.org/kyrgyzstan/press-releases/criminalization-domestic-violence-agenda-central-asian-countries>
29. United Nations Development Programme (UNDP). (2024). *Making Our Future: New Directions for Human Development in Asia and the Pacific*. Accessed at: <https://www.undp.org/asia-pacific/publications/making-our-future-new-directions-human-development-asia-and-pacific>
30. World Health Organization (WHO). (2023). *Mental Health and Suicide Prevention in Cambodia*. Accessed at: [https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/131056/9789241564779\\_eng.pdf](https://iris.who.int/bitstream/handle/10665/131056/9789241564779_eng.pdf)
31. World Health Organization. (n.d.). *Suicide mortality rate data*. Accessed at: <http://apps.who.int/gho/data/node.wrapper.imr?x-id=4664>
32. United Nations Population Fund (UNFPA) Cambodia. (2023). *Data Transparency Portal*. Accessed at: <https://www.unfpa.org/data/transparency-portal/unfpa-cambodia>
33. Inter-Parliamentary Union (IPU). (2023). *Women in Parliament 2023*. Accessed at: <https://www.ipu.org/resources/publications/reports/2024-03/women-in-parliament-2023>
34. Human Rights Watch. (2022). *Papua New Guinea*. Accessed at: <https://www.hrw.org/world-report/2022/country-chapters/papua-new-guinea>
35. United Nations Development Programme (UNDP). (n.d.). *Emerging Voices: Why the Voice of Women is Essential in Nauru*. Accessed at: <https://www.undp.org/pacific/stories/emerging-voices-why-voice-women-essential-nauru>
36. Boyland, J., & Johnson, B. (2018). *Impact of Climate Change on Girls and Young Women*. Accessed at: <https://www.sei.org/publications/climate-change-young-women-girls-vulnerability-impacts-adaptation-northern-thailand/>
37. Boyland, J., et al. (2021). *Youth Engagement in Climate Action*. Accessed at: <https://weadapt.org/knowledge-base/gender-and-social-equality/youth-engagement-in-climate-and-health-action/>
38. Eide, E., & Kunelius, R. (2021). *Youth-Led Climate Movements*. Accessed at: <https://link.springer.com/article/10.1007/s10584-021-03211-z>
39. ASEAN+3 Macroeconomic Research Office (AMRO). (2023). *Annual Consultation Report: Brunei Darussalam 2023*. Accessed at: [https://amro-asia.org/wp-content/uploads/2024/05/Selected-Issue\\_Climate-Change-Mitigation-Challenges-in-Brunei.pdf](https://amro-asia.org/wp-content/uploads/2024/05/Selected-Issue_Climate-Change-Mitigation-Challenges-in-Brunei.pdf)
40. UNICEF. (2023). *Is an end to child marriage within reach? Latest trends and future prospects 2023 update*. Accessed at: <https://data.unicef.org/resources/is-an-end-to-child-marriage-within-reach/>
41. UNICEF. (n.d.). *Child marriage*. Accessed at: <https://data.unicef.org/topic/child-protection/child-marriage/>

42. American Public Health Association (APHA). (n.d.). *Community Health Workers*. Accessed at: <https://www.apha.org/apha-communities/member-sections/community-health-workers>
43. SDG16.plus. (n.d.). *Rwanda's 30 percent gender quota led to the world's largest share of women in government*. Accessed at: <https://www.sdg16.plus/policies/rwandas-30-percent-gender-quota-led-to-the-worlds-largest-share-of-women-in-government/>
44. UN Women. (2021). *Women in Decision-Making in Public Life*. Accessed at: [https://www.unwomen.org/sites/default/files/Headquarters/Attachments/Sections/CS/W/65/EGM/Dahlerup\\_TSMs\\_EP3\\_EGMCSW65.pdf](https://www.unwomen.org/sites/default/files/Headquarters/Attachments/Sections/CS/W/65/EGM/Dahlerup_TSMs_EP3_EGMCSW65.pdf)
45. World Bank. (n.d.). *Educate Girls: Improving the Quality and Outcomes of Girls' Learning*. Accessed at: <https://openknowledge.worldbank.org/server/api/core/bitstreams/98bcabac-491f-5dc5-9d97-ed1a9675d521/content>
46. Educate Girls. (n.d.). *About Us*. Accessed at: <https://www.educategirls.ngo/about-us/>
47. Digital Skills and Jobs Platform. (n.d.). *Girls Go Circular*. Accessed at: <https://digital-skills-jobs.europa.eu/en/inspiration/good-practices/girls-go-circular>
48. VCCI. (2022). *Strengthening Resilience for Women-Led Businesses*. Accessed at: <https://en.vcci.com.vn/strengthening-resilience-for-women-led-businesses>
49. Oxfam. (2012). *Unilever and Oxfam launch pilot project to enhance women's livelihoods in Thailand*. Accessed at: <https://www.oxfam.org/en/press-releases/unilever-and-oxfam-launch-pilot-project-enhance-womens-livelihoods-more-sustainable>
50. UN Women. (n.d.). *Launch of Pacific Partnership to End Violence Against Women and Girls Phase II: Advancing Our Mission to End Violence Against Women and Girls*. Accessed at: <https://asiapacific.unwomen.org/en/stories/press-release/2024/06/launch-of-pacific-partnership-to-end-violence-against-women-and-girls-phase-ii>
51. European Commission. (2024). *EU and partners launch WYDE Women's Leadership Initiative*. Accessed at: [https://international-partnerships.ec.europa.eu/news-and-events/news/eu-and-partners-launch-wyde-womens-leadership-initiative-2024-03-14\\_en](https://international-partnerships.ec.europa.eu/news-and-events/news/eu-and-partners-launch-wyde-womens-leadership-initiative-2024-03-14_en)
52. UN Women Asia-Pacific. (n.d.). *Women's Empowerment Principles (WEPs) in China*. Accessed at: <https://asiapacific.unwomen.org/en/countries/china/weps>
53. Food and Agriculture Organization (FAO). (n.d.). *Climate-smart agriculture*. Accessed at: <https://www.fao.org/climate-smart-agriculture/en/>
54. Malala Fund. (2021). *A greener, fairer future: Why leaders need to invest in climate and girls' education*. Accessed at: [https://assets.ctfassets.net/0oan5gk9rqbh/OFgutQPKIFoi5IfY2iwFC/6b2fffd2c893ebdabee60f93be814299/MalalaFund\\_GirlsEducation\\_ClimateReport.pdf](https://assets.ctfassets.net/0oan5gk9rqbh/OFgutQPKIFoi5IfY2iwFC/6b2fffd2c893ebdabee60f93be814299/MalalaFund_GirlsEducation_ClimateReport.pdf)
55. Plan Norge. (2023). *Annual report 2023*. Accessed at: [https://www.plan-norge.no/sites/default/files/body\\_attachments/aarsrapport-english-plan-2023.pdf](https://www.plan-norge.no/sites/default/files/body_attachments/aarsrapport-english-plan-2023.pdf)

56. Plan International. (n.d.). *Overview of Skills and Opportunities for Youth Employment and Entrepreneurship*. Accessed at: <https://plan-international.org/publications/overview-skills-and-opportunities-for-youth-employment/>
57. Plan International. (n.d.). *Exceeding limitations: A H'mong girl leads change in her community*. Accessed at: <https://plan-international.org/case-studies/exceeding-limitations-hmong-girl-leads-change-community/>
58. Plan International. (2021). *Nepal Annual Highlights 2021*. Accessed at: [https://plan-international.org/uploads/sites/79/2022/04/Nepal-Annual-Highlights-2021\\_Plan-International-Final.pdf](https://plan-international.org/uploads/sites/79/2022/04/Nepal-Annual-Highlights-2021_Plan-International-Final.pdf)
59. Plan International. (n.d.). *Girls Get Equal Campaign*. Accessed at: <https://plan-international.org/girls-get-equal>
60. Plan International. (n.d.). *Youth Leadership in Climate Policy Workbook and Facilitator's Guide*. Accessed at: <https://plan-international.org/publications/youth-leadership-in-climate-policy-workbook-and-facilitators-guide/>
61. Plan International. (2022). *Strengthening Health Outcomes for Women and Children*. Accessed at: <https://plan-international.org/publications/strengthening-health-outcomes-women-children>
62. Plan International. (n.d.). *Helping Young People Access Sexual and Reproductive Health Services*. Accessed at: <https://plan-international.org/case-studies/helping-young-people-access-sexual-and-reproductive-health-services/>
63. United Nations Population Fund (UNFPA). (n.d.). *Sexual and Reproductive Health*. Accessed at: <https://www.unfpa.org/sexual-reproductive-health#:~:q=Good%20sexual%20and%20reproductive%20health,how%20often%20to%20do%20so>

**プラン・インターナショナル**は、子どもの権利と世界中の女の子の平等を推進するため、日々取り組みを続けています。私たちは、すべての子どもに力と可能性があると信じていますが、現実には貧困、暴力、排除、差別によって抑圧されていることも少なくありません。そして、その影響を最も受けているのは女の子たちです。独立した開発・人道団体として、プラン・インターナショナルは、子ども、思春期、ユース、支援者、パートナーとともに、女の子と弱い立場に置かれた子どもたちが直面している課題の根底にある原因に取り組んでいます。生まれてから大人になるまで、子どもたちの権利を守り、彼らが自らの力で危機や逆境に備え、対応できるよう支援するため、私たちはネットワークと知見を活かして、地域、国、そして世界レベルで実践と政策の変革を推進しています。85年以上にわたり、子どもたちのために共に取り組んできたパートナーと協力の下、私たちは世界80カ国以上で活動を続けています。誰もが平等な世界の実現にむけて、歩みを止めずに進んでいきます。

---

## Girls Get Equal

プラン・インターナショナルは10年以上にわたり、女の子の権利を求めるキャンペーンを展開してきました。現在展開中のGirls Get Equalキャンペーンは、女の子とユース女性が自身の人生の主導権を握り、周囲の世界を形作る役割を担えるように支援するものです。ユース女性のリーダーシップの推進は、本キャンペーンの柱です。これには、公共の意思決定の役割を担うユース女性と女の子を増やす等、公的な権力や権限のある立場への登用も含まれますが、それにとどまりません。Girls Get Equalは、象徴的なwarpaint風の平等のシンボルを掲げ、協力し・先導役を担ってくれた女の子・ユース女性・ユースの擁護者や活動家の姿をより正確に反映した、リーダーシップの再定義を試みています。それは、フェミニスト的かつジェンダー・トランスフォーマティブで、包摂的なものであり、男性によって狭義に定義されたリーダーシップのスキルや行動様式の強化や現在存在する男性優位の権力構造や統率構造の複製を意味しません。キャンペーン期間中、女の子とユース女性と協力し、彼女たちにとってリーダーとなるとはどういうことなのかを十分に理解するための継続的な調査が行われています。

## 私たちと提携しましょう!

プラン・インターナショナルは、地域の思春期の女の子への投資を促進・支援するため、さまざまな先導的かつ貢献的なアクターと提携関係を築くことを目指しています。私たちは、思春期の女の子の発達と、子ども時代から思春期を経て大人への移行を成功させるために、リソースと技術的専門知識を結集して共に取り組む意欲のある新たなパートナーを歓迎します。